

君、頭腦明晰ニシテ堅忍不拔遂ゲズンバ已マザルノ概アリ、少壯志ヲ立テ、米國ニ學ビ明治三十年六月エール大學最高法學科卒業、ドクトル、オブ、シビルロー」ノ學位ヲ受ク同年十月帝國外務省ノ囑託ニ依リ暹羅國政府法律顧問トナリ應機啓沃積年力ヲ竭シ功績丕ヒニ舉リ信望益々隆ク大正二年勳一等王冠大綬章、皇族勳章並ニ侯爵ヲ授ケラル、同年任ヲ辭シテ歸朝シ同四年郷里愛媛縣ヨリ推サレテ衆議院議員ニ當選シ尋デ大正六年再選シテ本會協議員及政務調査會理事ニ舉ゲラレ黨務ニ盡瘁シテ聲望アリ、同九年特命全權公使ニ任ジ暹羅國駐劄仰付ラレ同十年二月赴任將ニ其手腕ヲ發揮セントシテ席未ダ温マラザルニ同年八月十一日突然急患ニ罹リ首府盤谷府ニ於テ逝去ス特旨ヲ以テ從四位ヲ贈ラル。

松浦五兵衛君 正五位勳三等

選舉區	靜岡縣第一區
出身地	靜岡縣小笠郡河城村
生年月日	明治三年九月 日
經歷ノ一班	靜岡縣會議員、靜岡縣農會長 立憲政友會院內幹事、同 協議員 同 黨務員會副會長、衆議院副議長 同 黨務員會理事
衆議院議員 當選回数	十回 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
逝去年月日	昭和六年三月十二日(行年六十二歲)
墳墓所在地	靜岡縣小笠郡西鄉村字五明 松浦家墓地
相續者氏名 及住所	松浦昇君 靜岡縣小笠郡西鄉村五明



君、人ト爲リ卓犖不羈ニシテ膽略アリ、政界ノ情偽ヲ審ニシテ後進ヲ誘掖扶導ス、第七回總選舉以來累選十回常ニ黨ノ要務ニ參シテ貢獻スル所多ク昭和二年衆議院副議長ニ舉ゲラル、又茶業組合中央會議所會頭トナリ歐米支那及西伯利亞各地ヲ視察シテ販路ノ擴張ニ努メ斯業ノ發展ニ盡瘁シ静岡縣會議員同縣農會長トシテ命名アリ。

## 牧野

### 元君

從六位勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
長野縣郡部	長野縣下伊那郡鼎村	文久元年三月 日	長野縣會議員 同 副議長 衆議院議員 立憲政友會院內主事 全國蠶絲業組合中央部會議員 長野市長	三回 789	大正十年一月二十五日(行年六十一歲)	長野縣下伊那郡鼎村 牧野家墓地	牧野加賀司君 長野縣下伊那郡鼎村



君、資性重厚質實ニシテ夙ニ縣民ノ信望ヲ負ヒ屢々縣會議員ニ選マレテ副議長トナリカヲ縣政ノ發達ニ盡ス、明治三十五年衆議院議員ニ當選シタルモ會期僅カニ二旬ニ滿タズシテ解散セラレ同三十六年再選議場ニ臨ムヤ勅語奉答文案決議ニ依リ會期一日ニシテ二タビ解散ノ厄ニ遭フモ毫モ屈スル所ナク同三十七年三度當選シテ議政ニ參シ本會院内主事ニ舉ゲラル、後長野市長ニ就住シテ令名アリ。

丸山豐治郎君 勳四等

選舉區	新潟縣郡部
出身地	新潟縣中頸城郡菅原村
生年月日	明治元年一月 日
經歷ノ一班	新潟縣中頸城郡會議員 立憲政友會協議員 高田日報社長 衆議院議員
衆議院議員當選回数	三回 11 12 13
逝去年月日	昭和八年七月十八日(行年六十六歲)
墳墓所在地	新潟縣中頸城郡菅原村字武士 丸山家墓地
相續者氏名及住所	丸山芳夫君 高田市寺町一丁目



君、資性豪放潤達ニシテ人ニ接スルニ城府ヲ設ケズ寛宏ニシテ克ク衆ヲ容ル、夙ニ政黨政治ノ發達ニカヲ竭シ高田日報社長トシテ黨勢ノ擴張ニ盡瘁スルコト多年明治四十五年衆議院議員ニ當選シテ以來累選三回本會協議員ニ舉ゲラレ政界ニ活躍シテ聲望アリ。

古谷久綱君

從三位勳三等

選舉區	愛媛縣郡部
出身地	愛媛縣東宇和郡下宇和村
生年月日	明治七年六月 日
經歷ノ一班	帝室制度調査局秘書 立憲政友會幹事 韓國統監府秘書官 李王職御用掛 內閣總理大臣秘書官 同 政務調査會理事 樞密院議長秘書官 衆議院議員 請願委員長 式部官
衆議院議員當選回数	二回 12 13
薨去年月日	大正八年二月十二日 (行年四十六歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町 青山墓地
相續者氏名及住所	古谷重綱君 東京市杉並區成宗町二八八



君、資性穎悟ニシテ材幹アリ、夙ニ伊藤公ノ信認ヲ博シ公ノ秘書官トシテ常ニ其ノ側近ニ侍シ兼テ黨務ニ勵精セリ、公薨去ノ後式部官ニ任セラレ李王職御用掛ニ歴任ス又文筆ニ長ジ『藤公餘影』等ノ著書アリ。

### 古谷新作君

選舉區	山口縣第一區
出身地	山口縣佐波郡華城村
生年月日	天保十四年九月 日
經歷ノ一班	山口縣會議員 同 副議長 同 議長 衆議院議員 立憲政友會發會準備委員 同 臨時協議員
衆議院議員當選回数	三回 256
逝去年月日	大正十年五月一日(行年七十九歲)
墳墓所在地	山口縣佐波郡華城村 古谷家墓地
相續者氏名及住所	古谷眞作君 大阪市住吉區住吉町一、一四九



君、人ト爲リ狀貌魁偉、資性豪邁不羈ニシテ  
 夙ニ經世ノ志アリ、政界ニ活躍シテ山口縣  
 會議員ニ當選シ尋デ議長ニ舉ゲラレ縣政  
 ニ貢獻シテ鄉黨ノ信望ヲ負フ、明治二十五  
 年以來衆議院議員ニ當選スルコト三回明  
 治三十三年本會創立ニ際シ準備委員ニ舉  
 ゲラレ尋デ臨時協議員トナリ黨務ニ勵精  
 シテ黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ。

福島勝太郎君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住者氏名
静岡縣郡部	静岡縣安倍郡大里村	慶應元年五月 日	衆議院議員 立憲政友會協議員	四回 5789	大正十年十月六日(行年五十七歲)	静岡市中島町 昌林寺	福島志奈子 東京市日本橋區北新堀町一〇 脇憲一郎君方



君、人ト爲リ聰敏ニシテ膽略アリ、弱冠志ヲ立テ、米國ニ渡航シ「ミシガン」大學ニ學ビ次デ「エール」大學ニ入學シテ法學部ヲ卒業ス、明治三十年第五回總選舉ニ際シ新智識トシテ鄉黨ヨリ推サレ衆議院議員ニ當選シ地租増徴案否決ノ爲メ會期僅カ二旬ニ滿タズシテ解散セララル、尋デ明治三十五年以來累選三回議政ニ參シ常ニ藩閥政治ノ積弊ヲ打破シテ政黨政治ノ達成ヲ期シ又静岡農工銀行取締役及静岡實業銀行取締役ニ舉ゲラレ聲望アリ。

### 深見寅之助君

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
愛媛縣第三區	愛媛縣越智郡東伯方村	明治十年十一月 日	愛媛縣會議員 同議長 衆議院議員 立憲政友會幹事	一回 14	昭和三年三月六日(行年五十二歲)	愛媛縣越智郡東伯方村字木浦 深見家墓地	深見吉之助君 東京市麻布區市兵衛町二ノ一三



君、人ト爲リ外溫和ニシテ内ニ勁節ヲ懷キ  
 常ニ地方産業ノ發達ニ貢献スル所多ク愛  
 媛縣會議員ニ選マレ尋デ議長ニ舉ゲラル、  
 大正九年衆議院議員ニ當選シ同十二年本  
 會幹事ニ舉ゲラレ専心黨務ニ盡瘁セリ、又  
 伊豫綿布同業組合長、日本輸出綿織物同業  
 組合聯合會評議員、今治瓦斯株式會社等ノ  
 取締役タリ。

兒玉淳一郎君 正五位勳六等

出身地	生年月日	經歷ノ一斑	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
山口市	弘化三年五月 日	地方官會議書記官 大審院判事 貴族院議員(勅選) 立憲政友會協議員 同 幹事長 立憲政友會政務調査會長	大正五年四月三十日(行年七十一歳)	東京市芝區白金臺町 瑞聖寺	兒玉孝顯君 (大坂商工會議所顧問) 大坂市濱寺町船尾六三〇



君、人ト爲リ直情恬澹ニシテ邊幅ヲ飾ラズ、明治三十三年本會ノ創立セラルルヤ入りテ重要黨務ニ參與シ恪勤勵精孜々トシテ怠ラズ、大正二年時ノ内大臣兼侍從長桂太郎氏ノ立憲同志會ヲ設立シテ内閣ヲ組織セントスルヤ國論沸騰シテ其非行ヲ糾彈シ本會亦共ノ急先鋒タリ、君其間ニ介在シテ進退兩難ニ陥リ爾來黨籍ヲ離脱スルニ至レリ。

### 小池靖一君

選舉區	石川縣郡部
出身地	金澤市
生年月日	嘉永六年正月 日
經歷ノ一班	參事院議官補 内務省監獄局長 同 總裁秘書 法制局參事官 衆議院議員 衆議院書記官 立憲政友會幹事 貴族院議員(勅選)
衆議院議員 當選回数	一回 10
逝去年月日	昭和三年一月十三日(行年七十六歲)
墳墓所在地	東京市本郷區駒込吉祥寺町 吉祥寺
相續者氏名 及住者氏名	小池惠吉君 東京市牛込區市ヶ谷山伏町一四



君、人ト爲リ温厚ニシテ内ニ勁節ヲ懷キ  
 博學ニシテ操守堅實ナリ、明治三十三年  
 本會ノ創立セララルルヤ常任幹事ニ舉ゲ  
 ラレ後西園寺總裁及原總裁ノ秘書トナ  
 リ黨ノ會計事務ヲ管掌シテ黨務ニ勵精  
 シ衆ノ推稱スル所トナル。又明治四十一  
 年衆議院議員ニ當選シ後貴族院議員ニ  
 勅選セララル。 號香梁

木暮武太夫君 從五位勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住所
群馬縣郡部	群馬縣西群馬郡伊香保町	萬延元年二月 日	群馬縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員	七回 1 3 4 5 7 8 9	大正十五年四月 日 (行年六十七歲)	群馬縣群馬郡伊香保町 木暮家墓地	木暮武太夫君 (衆議院議員——當選四回) 群馬縣群馬郡伊香保町

木暮武太夫君



至誠人ヲ待チ儉素己ヲ持シ夙ニ民權自由ノ說ヲ唱ヘテ  
 郷黨ヲ指導ス、明治二十三年衆望ヲ負フテ衆議院議員ニ  
 當選シ議政ニ參シテハ專ラ力ヲ地價修正、米穀輸入關稅  
 改正等幾多農村政策ノ實現ニ竭シテ民意ノ暢達ニ努メ  
 明治三十三年本會ノ成立セラルルヤ之ニ加盟シ終始一  
 貫黨務ニ貢獻スル所尠カラズ、又伊香保鑛泉組合取締役  
 ニ擧ゲラレ地方開發ノ爲メ盡瘁シタル功ニ依リ勅定藍  
 綬褒章ヲ授與セラル、嗣子正一君乃父ノ遺志ヲ繼ギ衆議  
 院議員トナリ後襲名シ現ニ其職ニ在リ。

兒玉 仲兒君 從七位

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住所
和歌山縣第二區	和歌山縣那賀郡粉河町	嘉永二年十一月 日	和歌山縣會議員 同 副議長 和歌山縣那賀郡長 衆議院議員 同 議長	三回 126	明治四十二年一月二十四日 (行年六十一歲)	和歌山縣那賀郡粉河町大字粉河 矢倉墓地	實子兒玉亮太郎君 (元代議士 大正十年十月二十五日逝去) 孫 兒玉 行男君 和歌山縣那賀郡粉河町大字粉中山五番地



君ハ和歌山縣政界ノ耆宿ニシテ夙ニ藩  
 閥政治ノ積弊ヲ打破シ政黨政治ノ發達  
 ニ盡瘁シ後進ヲ指導シテ鄉黨ノ重望ヲ  
 負ヒ本會ノ爲メ貢獻スル所尠カラズ、嗣  
 子亮太郎君亦乃父ノ志ヲ繼ギ衆議院議  
 員ニ當選スルコト四回原總裁ノ秘書ト  
 シテ令名アリ。

兒玉亮太郎君 從五位勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住所
和歌山縣第三區	和歌山縣那賀郡粉河町	明治五年九月 日	大坂毎日新聞記者 遞信大臣秘書官 內務大臣秘書官 內閣總理大臣秘書官 立憲政友會政務調查會理事 衆議院議員 立憲政友會協議員	四回 11 12 13 14	大正十年十月二十五日(行年五十歲)	和歌山縣那賀郡粉河町大字粉河 矢倉墓地	兒玉行男君 和歌山縣那賀郡粉河町大字粉中山五



君、資性温厚初メ京都同志社ニ學ビ後米國ニ學ビ「ミシガン」大學ヲ卒業ス、歸朝後大阪毎日新聞社ニ入り社長原敬氏ノ信認ヲ得同氏ノ遞信大臣及内務大臣、内閣總理大臣タルニ追ンデ其秘書官ニ登用セラル、明治四十年衆議院議員ニ舉ゲラレ本會協議員、政務調査會理事ニ就任シ會務ニ盡瘁セリ。

小林源藏君 從四位勳四等

選舉區	山形縣米澤市
出身地	米澤市
生年月日	慶應三年三月 日
經歷ノ一班	鐵道院理事 衆議院議員 立憲政友會協議員 同政務調査會理事 同政務調査會會長 同政務調査會會長 同政務調査會會長
衆議院議員 當選回数	三回 11 12 13
逝去年月日	大正十年一月九日 (行年五十五歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町 青山墓地 山形縣米澤市東寺町 眞福寺
相續者氏名 及住所名	小林一郎君 東京市麻布區筭町一七五



君、人ト爲リ豪放濶達ニシテ細節ニ拘ラズ、明治三十七年日露戦役ニ際シ官命ヲ帶ビ佐渡丸ニテ航行中敵艦ノ襲フ處トナリ虜ハレテ露國ニ送ラレ艱苦ヲ嘗ムルコト二年、明治三十九年歸朝シ同四十五年選マレテ衆議院議員トナリ本會協議員、政務調査會理事同副會長同會長等ニ就任シ、前途ヲ囑望セラレタルニ偶々病ニ罹リ逝去ス。

兒玉好熊君 勳四等

選舉區	鹿兒島縣郡部
出身地	鹿兒島縣伊佐郡東太良村
生年月日	明治六年二月 日
經歷ノ一斑	鹿兒島縣會議員 衆議院議員 立憲政友會院內幹事 同 副議長 同 議長 立憲政友會幹事 同 政務調査會理事
衆議院議員當選回数	二回 12 13
逝去年月日	大正十三年九月十日(行年五十二歳)
墳墓所在地	鹿兒島縣伊佐郡本城村字南浦 兒玉家墓地
相續者氏名及住所	兒玉 覺君 鹿兒島市上瀧尾町



君、資性温良ニシテ風貌秀整而モ膽略アリ  
 リ屢々鹿兒島縣會議員ニ當選シテ議長  
 トナリ縣政ニ貢獻スル所尠カラズ、大正  
 四年選マレテ衆議院議員トナリ本部幹  
 事、院内幹事、政務調査會理事等ニ歷任シ  
 黨務ニ勵精セラレタリ。

### 小林乾一郎君

選舉區	宮崎縣第三區
出身地	宮崎縣東臼杵郡岡富村
生年月日	弘化二年六月 日
經歷ノ一班	宮崎縣會議員 同 副議長 同 議長 衆議院議員 立憲政友會院內部長
衆議院議員 當選回数	五回 2 3 4 5 6
逝去年月日	昭和四年一月二日(行年八十五歲)
墳墓所在地	宮崎縣延岡市 岡富墓地
相續者氏名 及住者氏名	小林賢二君 延岡市本小路



君、謹嚴剛直ニシテ時世ヲ遠觀シ夙ニ身ヲ教育界ニ起シ後進ヲ誘掖シ兼テ自治ノ發達ニ努ム、明治二十五年選マレテ衆議院議員トナリ國政ニ參與シ專心國運ノ發展ト地方ノ開發ニ盡瘁シテ聲望頗ル隆シ又宮城縣會議員ニ當選シ議長ニ舉ゲラル。號天外

後藤文一郎君 勳四等

選舉區	愛知縣郡部
出身地	愛知縣碧海郡知立町
生年月日	文久元年四月 日
經歷ノ一斑	愛知縣會議員 衆議院議員 立憲政友會院內主事 同 協議員 立憲政友會幹事
衆議院議員當選回数	三回 6910
逝去年月日	昭和三年九月二十九日(行年六十八歲)
墳墓所在地	愛知縣渥美郡二川町大字大岩 大岩寺
相續者氏名及住所	後藤文康君 (若松中學校教授) 福岡縣若松市深町



君、人ト爲リ精悍ニシテ氣節アリ、夙ニ憲政ノ大義ヲ唱ヘテ後進ヲ指導ス、明治三十一年衆議院議員ニ當選シ同三十三年本會創立ノ際幹事ニ舉ゲラレ尋デ院内主事、協議員等ニ歷任シテ黨務ニ勵精シ黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ。又愛知縣會議員ニ舉ゲラレ聲望アリ。

江原素六君 正五位勳二等

選舉區	静岡縣第七區
出身地	静岡縣駿東郡金岡村
生年月日	天保十三年正月 日
經歷ノ一班	静岡師範學校長 沼津中學校長 東京英和學校幹事 麻布中學校長 静岡縣會議員 衆議院議員 立憲政友會總務委員 請願委員長 豫算委員長 立憲政友會協議員 同協議員長 立憲政友會政務調查會長 東京市會議員 立憲政友會東京支部幹事長 貴族院議員(勅選)
衆議院議員當選回数	七回 1 2 3 4 5 8 9 (東京市部)
逝去年月日	大正十一年五月二十日(行年八十一歲)
墳墓所在地	静岡縣駿東郡金岡村 江原家墓地
相續者氏名及住所	江原貞子(孫女) 静岡縣駿東郡金岡村



君、資性卓犖、風格秀整ニシテ君子ノ風アリ、夙ニ教育ニ心ヲ委ネ沼津中學校長、静岡師範學校長、麻布中學校長等ニ歴任シ一世ノ師表トシテ聲望頗ル隆シ、又常ニ自由民權ノ說ヲ唱ヘ立憲政治ノ確立ニ努メ明治二十三年第一回總選舉以來屢々衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與シ請願委員長、豫算委員長等ニ就任シテ令名アリ、明治三十三年本會ノ創立ニ方リ總務委員ニ舉ゲラレ尋デ協議員長、政務調査會長等ノ要職ニ就キ樞機ニ參畫シテ黨勢ノ發展ニ貢獻スル所尠カラズ後貴族院議員ニ勅選セララル。

### 江藤哲藏君

從四位勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
熊本縣郡部	熊本縣菊池郡陣内村	明治五年八月 日	東亞同文會幹事 同 幹事 遞信省勅任參事官 同 院內總務 衆議院議員 同 黨務員會理事 立憲政友會政務調査會々長 同 總務委員 立憲政友會院內幹事 同 幹事長 同 協議員 同 相談役	四回 9 11 12 13	大正八年六月二十四日 (行年四十八歲)	熊本縣菊池郡陣内村 江藤家墓地	江藤太郎君 (廣島文理科大學講師) 廣島市三篠橋西詰



君、人ト爲リ卓犖明敏、夙ニ地方公共ノ爲ニ力ヲ致シ明治三十七年衆議院議員ニ擧ケラレテヨリ選ヲ累ヌルコト四回、常ニ身ヲ黨務ニ委ネテ四方ニ奔走シ、廣ク天下ノ志士ニ交リテ議論ヲ上下シ、人ニ接スルニ城府ヲ設ケズ、深ク幹局ノ器ヲ藏シテ至誠事ニ當リ爲ス所遂ゲズンバ已マザルノ概アリ、嘗テ遞信省勅任參事官ニ任セラレ又鮮人啓發ノ急務タルヲ認メ先ヅ其ノ女子教育ニ着眼シ淑明女學校ヲ創設シ拮据經營事幾ト其緒ニ就カントスルノ時俄ニ病ニ罹リ逝去ス。

遠藤良吉君 勳三等

選舉區	宮城縣第七區
出身地	宮城縣桃生郡赤井村
生年月日	安政元年十二月 日
經歷ノ一班	陸軍少尉試補 警部補 宮城縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	五回 9 10 11 13 14
逝去年月日	昭和六年十二月十二日(行年七十八歲)
墳墓所在地	宮城縣石卷市 永岩寺
相續者氏名及所	遠藤秀人君 京都市伏見區新町



君、人ト爲リ直情徑行ニシテ權貴ヲ憚ラズ、自ラ奉ズルコト淡泊ニシテ人ノ爲メニ圖ルコト深切ナリ、然レドモ常ニ酒ヲ嗜ミ時ニ常規ヲ逸スルコトアルモ能ク節義ヲ守リ、然諾ヲ重ンジ終始一貫黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ。

寺井純司君 勳四等

選舉區	青森縣郡部
出身地	弘前市
生年月日	嘉永三年五月 日
經歷ノ一班	弘前英漢學校教授兼幹事 青森縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 同 議 長
衆議院議員當選回数	四回 7 8 9 10
逝去年月日	大正六年十一月十七日 (行年六十八歲)
墳墓所在地	青森市寺町 常光寺
相續者氏名及住所	寺井冽泉君 岩手縣花卷町



君、資性重厚質實ニシテ夙ニ經世ノ志アリ、初メ青森縣會議員ニ舉ゲラレ尋デ議長トナリ地方開發ニ貢獻シテ信望頗ル隆ク、明治三十五年衆議院議員ニ選マレテヨリ累選四回其間減債基金設定、鐵道國有、選舉法改正等ノ議ニ參與シテ國運ノ進展ニ力ヲ竭シ又弘前英漢學校教授兼幹事ニ就任シテ育英ノ事業ニ盡瘁シ其功績尠カラズ。

秋元興朝君 正三位 子爵

出身地	東京市
生年月日	安政四年五月四日
經歷ノ一斑	無任所全權公使 立憲政友會協議員 同 協議員長 立憲政友會群馬支部長 同東京支部長
薨去年月日	大正六年四月二十三日(行年六十一歳)
墳墓所在地	東京市下谷區谷中町 谷中墓地
相續者氏名及住所	子爵秋元春朝君 (貴族院議員) 東京市瀧野川區西ヶ原町二八六



君、資性聰敏、風格溫雅ニシテ博覽洽聞、事理明徹、華胄ノ身ヲ以テ意ヲ政黨政治ニ注ギ明治三十三年本會ノ組織セラルルヤ卒先來リ投ジ輿望ノ歸スル所舉ゲラレテ協議員長トナリ樞機ニ參畫シテ其ノ功績尠カラズ、又力ヲ貴族院政派ノ革新ニ委ネ隱然重ヲ同族ノ一角ニ擔フ、君居常風流韻事ヲ以テ閑ヲ消スト雖モ念頭常ニ政治ヲ去ラズ談一タビ政界ノ事ニ及ベバ議論風發、活氣橫溢聞クモノ推服セザルモノナシ。

新井章吾君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名
栃木縣第二區	栃木縣下都賀郡吹上村	安政三年二月 日	栃木縣會議員 立憲政友會臨時協議員 同 幹事 同 衆議院議員 同 協議員 拓殖務省北部長	七回 1 2 3 4 5 6 9	明治三十九年十月十六日(行年五十一歲)	栃木縣下都賀郡吹上村天神山 專福寺	新井 胖君 宇都宮市尾上町三二八八



君、資性豪放ニシテ夙ニ經世ノ志アリ、明治十四年板垣伯ノ自由黨ヲ組織スルヤ進ンデ之ニ投シ、自由民權ノ大義ヲ唱ヘテ國會開設ノ急務ヲ主張シ、各地ニ遊說シテ之ガ普及ニ努メ明治二十三年第一回總選舉以來屢々衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與シ常ニ官僚閥族ニ抗爭シテ民意ノ暢達ニ努メ自由平等經綸等ノ著アリ、明治三十三年本會ノ創立ニ際シ入會シテ臨時協議員、院內幹事、協議員等ニ就任シ黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ。

秋岡義一君 勳四等

選舉區	大阪府郡部
出身地	大阪市
生年月日	文久三年五月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會幹事 同 協議員 立憲政友會臨時協議員 同 院內部長
衆議院議員當選回数	八回 3 4 5 6 7 8 10 11
逝去年月日	大正十四年三月三十一日(行年六十三歲)
墳墓所在地	京都府綴喜郡八幡町 圓福寺
相續者氏名及住所	秋岡義愛君 大阪市旭區蒲生町五四七



君、人ト爲リ外溫和ニシテ内ニ勁節ヲ抱  
 キ屢々衆議院議員ニ當選シ政界ノ情偽  
 ヲ審ニシ黨情ノ巨細ニ通ジテ黨勢ノ擴  
 張ニ貢獻スル所多シ。又京阪電氣鐵道株  
 式會社、京阪土地建物株式會社、朝鮮綿業  
 株式會社等ノ監査役ニ舉ゲラル。號禾山

朝倉親爲君 從六位

選舉區	大分縣第三區
出身地	大分縣直入郡豐岡村
生年月日	天保十四年六月 日
經歷ノ一班	郡奉行 大分縣屬 郡長 衆議院議員 立憲政友會臨時協議員
衆議院議員 當選回数	六回 1 2 3 4 5 6
逝去年月日	明治三十四年五月九日(行年五十九歲)
墳墓所在地	大分市直入郡豐岡村 圓福寺
相續者氏名 及住所	朝倉貞人君 大分縣直入郡豐岡村



君、人ト爲リ廉直恬澹ニシテ容姿端正長者ノ風アリ、夙ニ意ヲ教育殖産等ノ事ニ注ギ明治初年職ヲ大分縣ニ奉ジ歷任シテ大野、直入ノ各郡長トナリ命名アリ、明治二十三年帝國議會ノ開設セラルルヤ、選マレテ衆議院議員トナリ國政ニ參與シテヨリ累選六回専心カヲ民力ノ涵養ニ竭シ又公共ノ事業ヲ起シテ地方ノ開發ニ努メ其功績尠カラズ、郷黨其ノ徳ヲ景仰シ銅像ヲ建設シテ之レヲ表彰セリ。

天春文衛君 從五位勳三等

選舉區	三重縣第五區
出身地	三重縣三重郡保々村
生年月日	弘化四年十一月 日
經歷ノ一班	三重縣會議員 三重縣農會副會長 帝國農會議員 衆議院議員 立憲政友會臨時協議員 同 協議員 全院委員長 貴族院議員(多額)
衆議院議員當選回数	四回 1 2 13 14
逝去年月日	昭和二年八月二十四日(行年八十一歲)
墳墓所在地	三重縣三重郡保々村大字中野 天春家墓地
相續者氏名及住所	天春文太郎君 三重縣三重郡保々村大字中野



君、人ト爲リ瀾達ニシテ氣節アリ、夙ニ自治ノ發達ト産業ノ振興ニ努ム、明治二十三年第一回總選舉ニ際シ選マレテ衆議院議員トナリ同二十五年再選セラレタルモ其ノ任期滿了スルヤ暫ク身ヲ農村政策ノ施設ニ委ネ、三重縣農會副會長、三重縣農工銀行頭取、帝國農會議員ニ舉ゲラル、大正六年三度衆議院議員ニ當選尋デ同九年累選シテ全院委員長トナリ後貴族院議員(多額)ニ勅任セララル。

愛澤寧堅君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
福島縣郡部	福島縣双葉郡浪江町	嘉永二年七月 日	愛國社幹事 衆議院議員 立憲政友會協議員	五回 2 3 4 8 9	昭和四年三月四日(行年八十一歳)	福島縣双葉郡浪江町大字高瀬 愛澤家墓地	愛澤仰高君(令弟) 福島縣双葉郡浪江町大字高瀬



君、人ト爲リ剛直ニシテ膽氣アリ、夙ニ愛國社ヲ組織シテ自由民權ノ說ヲ鼓吹シ、後進ヲ指導シテ立憲政治ノ確立ニ努メ屢々衆議院議員ニ當選シテ行政財政ノ整理、國民負擔ノ輕減ヲ主張シ其ノ貫徹ヲ期スト雖モ、資性直情徑行ニシテ迂餘曲折ノ才ニ乏シキヲ以テ晩年常盤武助氏方ニ寄寓シ不遇ノ裡ニ逝去ス。常盤氏ハ目下東京市日本橋區小傳馬町二十九番地ニ居住ス。

阿部 德三郎君 勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
岩手縣郡部	岩手縣西磐井郡彌榮村	慶應三年九月 日	衆議院議員 立憲政友會政務調查會副會長 懲罰委員長	六回 8 9 10 11 12 13	大正七年五月十四日(行年五十八歲)	岩手縣一ノ關町 白馬山願成寺	阿部 時一君 岩手縣一ノ關町下街一六
			立憲政友會院內主事 同 協議員				



君、資性皓潔ニシテ圓滿、能ク人ヲ容レ公  
 私ヲ明ニシテ案ス所ナシ、明治三十六年  
 選マレテ衆議院議員トナリ累選六回、議  
 政ニ參シテ勵精克ク其ノ任務ヲ完ウシ  
 懲罰委員長ニ舉ゲラル、又一ノ關氣仙沼  
 間鐵道敷設ニ關シ多年力ヲ盡シ、一ノ關  
 町々營電氣事業ヲ完成シテ鄉黨ノ推稱  
 スル所トナル。

安藤 新太郎君 勳三等

選舉區	兵庫縣郡部
出身地	兵庫縣明石郡大久保村
生年月日	明治元年一月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會幹事 立憲政友會院內主事 同 協議員
衆議院議員 當選回数	四回 8 9 10 11
逝去年月日	大正八年二月十三日(行年五十二歲)
墳墓所在地	兵庫縣明石郡大久保村字大久保 安藤家墓地
相續者氏名 及住所	安藤 秀三君 兵庫縣明石郡大久保村大久保三四四



君、資性聰敏ニシテ、經術深邃、常ニ通商貿易ノ開發ニ努ム、明治三十六年衆議院議員ニ當選シテ以來、累選四回本部幹事ニ舉ゲラレ、黨務ニ勵精セリ、又日本汽船問屋業同盟會々長、辰馬汽船株式會社其他數會社ノ重役トナル。

新井啓一郎君

選舉區	埼玉縣第三區
出身地	埼玉縣南埼玉郡篠津村
生年月日	文久元年八月 日
經歷ノ一班	戶長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	五回 2 3 4 5 6
逝去年月日	大正十三年三月三日 (行年六十四歲)
墳墓所在地	埼玉縣南埼玉郡篠津村 忠恩寺
相續者氏名及住所	新井 凌君 (農學士) 埼玉縣南埼玉郡篠津村大字高岩



君、資性穎敏ニシテ操守堅實、義ニ富ミ情ニ篤ク德望郷黨ニ隆シ、明治二十五年衆議院議員ニ舉ゲラレテヨリ累選五回、議政ニ參與シテ常ニ地租輕減、民力休養及交通治水政策ノ達成ヲ主張シ、産業ノ開發ニ貢獻スル所多大ナリシモ後政界ヲ隱退シ餘生ヲ農事ノ改良發達ニ寄與セリ。

秋本喜七君 從五位勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及所
東京府第八區	東京府北多摩郡三鷹村	文久元年八月 日	東京府會議員 同 郡部會議長 東京府農會副會長 立憲政友會幹事 同 協議員 帝國農會創立委員 衆議院議員 同 院內幹事	三回 12 13 14	昭和五年五月 日 (行年七十歲)	東京府北多摩郡多磨村、東京市多磨墓地	秋本敏男君 東京市北多摩郡武藏野町境



君、人ト爲リ豪放寡黙ニシテ思慮周到、夙ニ政界ニ活躍シテ屢々東京府會議員ニ當選シ參事會、郡部會議長ニ舉ゲラレ府政ニ貢獻シテ信望アリ、大正四年衆議院議員ニ當選シテ以來累選三回本部幹事、院内幹事、協議員等ニ就任シテ黨勢ノ發展ニ努メ又帝國農會創立委員、帝國農會議員、同評議員、東京府農會副會長、東京府農工銀行監查役、玉川水道株式會社監查役タリ。

穴水要七君 正六位

選舉區	山梨縣全區
出身地	山梨縣北巨摩郡旭村
生年月日	明治八年一月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會會計監督 同 常議員 立憲政友會協議員 同 院内總務
衆議院議員當選回数	四回 13 14 15 16
逝去年月日	昭和四年一月三日(行年五十五歲)
墳墓所在地	横濱市鶴見町 總持寺
相續者氏名及住所	穴水やみ子(未亡人) 東京市麻布區永坂町六〇



君、人ト爲リ堅忍ニシテ果決、夙ニ産業立國ノ主義ヲ抱持シ富士製紙株式會社其他十數社ノ重役トシテ經營ノ任ニ當リ其功績顯著ナルモノアリ、一タビ衆議院議員トナリ本會ニ入會セラルルヤ協議員、院內總務、會計監督、常議員等ノ要職ニ就キ常ニ樞機ニ參シテ貢獻スル所尠カラズ、前途有爲ノ材ナリシモ不幸病ニ罹リ逝去ス。

青柳郁次郎君 正六位

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
福岡縣第二區	福岡縣鞍手郡直方村	明治十年三月 日	福岡縣會議員 同 副議長 衆議院議員 立憲政友會協議員 帝國農會議員	三回 14 15 17	昭和五年八月十八日(行年五十四歲)	福岡縣直方市下新入町 青柳家墓地	青柳一郎君 福岡市東小性町二三



君、人ト爲リ沈着ニシテ膽略アリ、常ニ産業ノ開發ニ努メ福岡縣會議員ニ當選シテ副議長ニ舉ゲラレ縣政ニ貢獻スル所尠カラズ、大正九年衆議院議員ニ當選シ議政ニ參シテハ勵精能ク其職ニ努メ又帝國農會議員トシテ農村政策ノ達成ニ盡瘁セリ。

## 相川久太郎君

選舉區	石川縣郡部
出身地	石川縣江沼郡東谷口村
生年月日	元治元年八月十五日
經歷ノ一班	石川縣會議員 衆議院議員
衆議院議員當選回数	一回 11
逝去年月日	大正十五年二月二十一日(行年六十三歲)
墳墓所在地	金澤市野田山墓地
相續者氏名及住所	相川松子 金澤市裏古寺町六



君、人ト爲リ豪放卓落ニシテ操守堅實、夙ニ  
 憲政ノ大義ヲ唱ヘテ政黨政治ノ達成ヲ期  
 シ明治二十三年第一回總選舉ニ際シ衆議  
 院議員ニ當選セシモ、定年ニ達セザルノ故  
 ヲ以テ失格シ更ニ明治四十五年當選議政  
 ニ參シ常ニ不言ノ裡ニ實行ヲ期シ奇骨ヲ  
 以テ推重セララル、又愛黨ノ念熾烈ニシテ終  
 始一貫本會ノ爲メ盡瘁セリ。

齋藤 珪次君 正五位勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住所
埼玉縣第四區	埼玉縣北埼玉郡三田ヶ谷村。	萬延元年三月 日	埼玉縣會議員 衆議院議員 鐵道會議議員 治水調査會委員 請願委員長 豫算委員長 內務大臣秘書官 立憲政友會協議員 立憲政友會黨務員副會長	八回 2 3 9 10 11 12 13 15	昭和三年三月二十一日(行年六十九歲)	埼玉縣北埼玉郡井泉村字今泉 長光寺	齋藤重雄君 (埼玉縣會議員) 埼玉縣北埼玉郡三田ヶ谷村



君、人ト爲リ剛直ニシテ經世濟民ノ志ニ篤ク、  
 夙ニ板垣伯ニ私淑シテ其ノ薰陶ヲ受ケ政界  
 ニ活躍スルコト多年明治二十五年以來屢々  
 衆議院議員ニ當選シテ請願委員長、豫算委員  
 長ニ舉ゲラル又板垣伯ノ内務大臣トナルヤ  
 其ノ秘書官ニ登用セラレ幾クモナク之ヲ辭  
 ス、明治三十三年本會ノ創立ニ際シ之ニ加盟  
 シ屢々協議員、黨務員副會長等ニ就任シテ黨  
 務ニ盡瘁セリ。

### 佐竹作太郎君

正六位 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住所
山梨縣 甲府市	京都市 愛宕郡 大原村	嘉永二年三月 日	甲府市會議員 甲府商業會議所議員 立憲政友會協議員 立憲政友會相談役  山梨縣會議員 東京商業會議所議員 同 協議員長  東京電燈株式會社々長 衆議院議員 全院委員長	五回 7 8 9 10 11	大正四年八月十七日(行年六十七歲)	甲府市 大泉寺	佐竹次郎君 東京市淀橋區柏木三ノ四二九



君、人ト爲リ温厚篤實ニシテ夙ニ身ヲ實業界ニ投ジ、刻苦勵精事必ズ遂ゲザルナク、業必ズ成サザルナク信望年ト共ニ加リ、明治二十九年東京電燈株式會社常務取締役トナリ尋デ社長ニ舉ゲラル、明治三十五年以來衆議院議員ニ當選スルコト四回共間推サレテ全員委員長タリシコト二回、本會ニ在リテハ或ハ協議員長トナリ或ハ相談役トナリ、黨ノ樞機ニ參與シテ黨務ニ盡瘁シ舉黨長者ヲ以テ之ヲ遇シ推重敬服セリ。

佐藤昌藏君 從七位

選舉區	岩手縣第三區
出身地	岩手縣和賀郡黑澤尻町
生年月日	天保四年六月 日
經歷ノ一班	盛岡藩少參事 岩手縣西磐井郡長 衆議院議員 立憲政友會臨時協議員 青森縣屬 同 東磐井郡長 豫算委員長 岩手縣屬 茨城縣東茨城郡長 請願委員長
衆議院議員當選回数	五回 1 2 3 4 6
逝去年月日	大正四年十一月三十日 (行年八十三歲)
墳墓所在地	岩手縣稗貫郡太田村 昌歡寺
相續者氏名及住所	男爵 佐藤昌介君 (東北大學總長) 札幌市苗穂



君、資性謹嚴ニシテ謙恭己ヲ持シ、或ハ教育ニ力ヲ致シ、或ハ産業ニ心ヲ注ギ、夙ニ自治ノ發達ヲ圖リ官海ニ身ヲ投ジテ重望ヲ負フ、明治二十三年以來屢々衆議院議員ニ舉ゲラレ豫算委員長、請願委員長等ノ要職ニ就キ貢獻スル所頗ル多シ、嗣子昌介君東北大學總長トシテ命名アリ。

榊田清兵衛君 正五位勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
秋田縣第二區	秋田縣仙北郡大曲町	元治元年五月 日	秋田縣會議員 立憲政友會幹事 請願委員長 同 議長 同 協議員 同 衆議院議員 同 協議員長	七回 10 11 12 13 14 15 16	昭和四年十月十日(行年六十六歲)	秋田縣仙北郡大曲町 安養寺	榊田弘藏君(孫) 秋田縣仙北郡大曲町字大町五六



君、天資英邁、人格高潔ニシテ信義ニ篤ク、人ノ爲ニ謀ルコト忠實ニシテ敢テ聞達ヲ求メズ、之ヲ以テ信望年ト共ニ加リ名聲郷黨ニ隆ク、屢々秋田縣會議員ニ當選シテ議長ニ舉ゲラレ縣政ニ貢獻スルコト多年、明治四十一年衆望ヲ負フテ衆議院議員ニ當選シテ以來選ヲ累ヌル七回、請願委員長トナリ民意ノ暢達ニ努メ又本會幹事、協議員、協議員長等ニ就任シテ黨務ニ勵精セリ。

指田 義雄君

從五位勳四等

選舉區	埼玉縣第五區
出身地	埼玉縣北埼玉郡下忍町
生年月日	慶應三年一月 日
經歷ノ一班	東京商業會議所議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 同 政務調査會理事 立憲政友會院內總務 同 政務調査會副會長
衆議院議員當選回数	四回 11 12 13 14
逝去年月日	大正十五年九月二十三日(行年六十歲)
墳墓所在地	埼玉縣北埼玉郡忍町字袋 西福寺
相續者氏名及住所	指田 春子(未亡人) 東京市澁谷區原宿二ノ一四三



君、資性卓犖聰敏ニシテ識量アリ、夙ニ心ヲ産業ノ開發ニ注ギ、明治四十五年郷里北埼玉同志會ノ推薦ニ依リ衆議院議員ニ當選シテ以來累選四回、常ニ本會ノ要務ニ參與シテ貢獻スル所極メテ多ク、又東京商業會議所議員、東京米穀取引所理事長等トナリ其他幾多ノ事業ヲ計畫シテ國運ノ進展ニ盡瘁セリ。號省軒

### 鯨島相政君

選舉區	鹿兒島縣郡部
出身地	鹿兒島縣揖宿郡額娃村
生年月日	安政四年正月十八日
經歷ノ一斑	鹿兒島縣會議員 同 議長 立憲政友會發會準備委員 同 衆議院議員 立憲政友會院內幹事 檢事 同 幹事
衆議院議員當選回数	三回 5 6 7
逝去年月日	明治四十四年十二月十二日(行年五十五歲)
墳墓所在地	鹿兒島縣揖宿郡額娃村 興正寺
及相續住氏所名	鯨島 齊君 和歌山市上鷹匠町四五



君、資性豪放ニシテ膽略アリ、明治三十三年本會ノ創立セラルルヤ、奮テ之ニ加盟シ創立事務ニ參畫シ、尋デ幹事ニ擧ゲラレ黨務ニ勵精シテ黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ、後政界ヲ引退シ檢事ニ任ゼラレ北海道室蘭市ニ在勤中病ニ罹リ同地ニ於テ逝去ス。

澤田 佐助君 勳四等

選舉區	大阪府大阪市
出身地	大阪市
生年月日	安政二年十一月 日
經歷ノ一班	大阪府會議員 大阪商業會議所議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	四回 7 8 9 10
逝去年月日	明治四十四年七月三日(行年五十七歲)
墳墓所在地	大阪市天王寺區 天王寺墓地
相續者氏名及住所	澤田 佐助君 兵庫縣御影城前町



君、人ト爲リ頭腦明晰ニシテ機略ニ富ミ、  
 而モ資性溫和敦厚ニシテ人ニ接スルニ  
 城府ヲ設ケズ、常ニ後進ヲ指導シテ聲望  
 アリ、大阪府會議員、大阪商業會議所議員  
 ニ舉ゲラレ尋デ明治三十五年衆議院議  
 員ニ當選シテ以來累選四回、本會協議員  
 ニ就任シテ黨務ニ盡瘁セリ。

齋藤安雄君 從五位勳三等

選舉區	埼玉縣郡部
出身地	埼玉縣大里郡中瀬村
生年月日	慶應元年六月 日
經歷ノ一班	埼玉縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 貴族院議員(多額) 立憲政友會院内主事
衆議院議員 當選回数	五回 5 6 11 12 13
逝去年月日	昭和六年一月二十八日(行年六十七歲)
墳墓所在地	埼玉縣大里郡中瀬村 吉祥寺
相續者氏名 及住所	齋藤馨之助君 埼玉縣大里郡中瀬村 神奈川縣鎌倉町極樂寺五六一



君、人ト爲リ眞摯穩健ニシテ夙ニ地方開發ニ心ヲ注ギ、埼玉縣會議員ニ舉ゲラレ縣政ニ貢獻スル所尠カラズ、明治三十年以來屢々衆議院議員ニ當選シテ立憲政治ノ達成ニ盡瘁セラレタルモ又殖産興業ノ急務タルヲ認メ、埼玉縣下ニ於テ幾多ノ銀行、會社、組合等ヲ創設シテ其中心トナリ、拮据經營能ク其ノ功ヲ收メテ聲望アリ、後貴族院議員(多額)ニ勅任セララル。

佐治幸平君 勳四等

選舉區	福島縣郡部
出身地	福島縣大沼郡高田町
生年月日	文久元年十一月 日
經歷ノ一斑	若松市長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	六回 4 5 6 8 9 10
逝去年月日	大正六年八月十三日(行年五十七歲)
墳墓所在地	福島縣大沼郡高田町 法幢寺
相續者氏名及住所	佐治酉二郎君 (農學士 東京府農業技師) 東京市澁谷區代々木富ヶ谷町一、四九八



君、資性聰敏ニシテ操守堅實夙ニ地方産業ノ開發ニ心ヲ注ギ孜孜トシテ倦ムヲ知ラズ後進ヲ誘掖指導シテ聲望アリ、明治二十七年以來衆議院議員ニ當選スルコト六回議政ニ參シテハ常ニ農村政策ノ達成ニ盡瘁シ本會協議員ニ舉ゲラレ黨務ニ勵精セリ、又若松市長ニ就任シテ治績多シ。

齋藤和平太君 勳四等

選舉區	新潟縣第一區
出身地	新潟縣西蒲原郡小池村
生年月日	慶應元年四月 日
經歷ノ一班	新潟縣會議員 衆議院議員 立憲政友會院內主事
衆議院議員當選回数	四回 6789
逝去年月日	大正十四年九月二十四日(行年六十一歲)
墳墓所在地	新潟縣西蒲原郡島上村字横田 法藏寺
相續者氏名及相續住所	齋藤好司君 新潟縣南蒲原郡三條町字西新保



君、人ト爲リ眞摯剛健ニシテ夙ニ地方産業ノ開發ニ盡瘁シ郷黨ノ信望ヲ博シ新潟縣會議員ニ舉ゲラレ政界ニ活躍スルコト多年、明治三十一年衆議院議員ニ當選シテ以來累選四回議政ニ參シテハ常ニ地租輕減、行政財政ノ整理、民力ノ休養等ヲ主張シテ民意ノ暢達ニ努メ、本會院內主事トシテ黨務ニ勵精セシモ明治三十六年第十八議會ニ於ケル本會ト桂內閣トノ妥協問題ニ關シ所見ヲ異ニシ脫會ヲ聲明セラレタルモ黨友ノ慰撫ニ依リ後復黨セリ。

向坂 弘君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
島根縣郡部	松江市	安政三年一月 日	松江市會議員 衆議院議員 同 議 長 立憲政友會協議員 島根縣會議員	三回 8910	大正十四年四月二十四日(行年七十歲)	松江市奥谷町 萬壽寺	向坂秋穂君 松江市苧町九



君、資性温厚ニシテ内ニ勁節ヲ懷キ、自ラ守ルコト堅實ニシテ人ニ對スルニ同情饒ク、後進ヲ指導シテ聲望アリ、屢々松江市會議員ニ當選シテ議長ニ舉ゲラレ市政ノ發展ニ努ム、明治三十六年衆議院議員ニ當選シテ以來累選三回議政ニ參シテハ常ニ民意ノ暢達ニ努メ又本會協議員ニ就任シテ終始一貫黨務ニ盡瘁セリ。

齋藤二郎君 正六位

選舉區	宮城縣郡部
出身地	宮城縣刈田郡白石町
生年月日	明治元年十一月 日
經歷ノ一班	韓國法部補佐官 遞信大臣秘書官 衆議院議員 立憲政友會幹事 同 政務調査會理事 同 協議員
衆議院議員當選回数	二回 10 13
逝去年月日	大正六年七月二十二日(行年五十歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町 青山墓地
相續者氏名及住所	齋藤貫一君 名古屋市中區大池町二ノ三



君、人ト爲リ精悍ニシテ奇節アリ、情熱ノ進  
 ル所時ニ常規ヲ逸スルガ如キ觀アリト雖  
 而モ天真流露掬スベキノ情アリ、夙ニ星亨  
 氏ニ師事シテ其ノ薰陶ヲ受ケ、憲政ノ發達  
 ニ盡瘁スルコト多年、星氏遞信大臣タルニ  
 及ンデ其ノ秘書官トナリ幾クモナク之ヲ  
 辭ス、明治四十一年衆議院議員ニ當選シテ  
 本部幹事、政務調査會理事等ニ擧ゲラレ本  
 會ノ爲メ貢獻スル所尠カラズ。

佐々木文一君 正六位勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員 當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名 及住居所
岐阜縣第七區	岐阜縣可兒郡伏見村	明治元年十二月 日	日本大學理事 衆議院議員 立憲政友會幹事 同 院內幹事 立憲政友會協議員 請願委員長	四回 10 11 13 15	昭和五年一月十六日(行年六十三歲)	東京市赤坂區青山南町 青山墓地	佐々木公一君 (慶應大學在學中) 麻布區我善坊町二五



君、人ト爲リ濶達恬淡ニシテ夙ニ經世ノ志アリ、常ニ己ヲ虛クシテ功ヲ後進ニ讓リ、敢テ榮達ヲ求メズ、明治四十一年以來屢々衆議院議員ニ當選シテ請願委員長ニ舉ゲラレ又本會幹事、院内幹事、協議員等ニ就任シテ黨勢ノ發展ニ盡瘁シ日本大學理事トシテ聲望アリ。

澤 來 太 郎 君 從五位勳三等

選舉區	宮城縣第五區
出身地	宮城縣栗原郡澤邊村
生年月日	慶應元年十二月 日
經歷ノ一班	東北義塾々頭 仙臺新聞社長 衆議院議員 立憲政友會政務調査會理事 官有財産調査會委員
衆議院議員當選回数	六回 7 9 10 11 13 14
逝去年月日	大正十一年三月二十三日(行年五十八歲)
墳墓所在地	仙臺市北八番町 江巖寺 宮城縣栗原郡澤邊村 全慶寺
相續者氏名及住所	澤 晴 夫君 仙臺市定禪寺通四

澤來太郎君



君、資性豪壯ニシテ身材魁梧、臥牛ト號シ  
 敢テ邊幅ヲ飾ラズ、後進ヲ指導シテ重望  
 ヲ負フ、又政務ニ長ジ常ニ意ヲ國有財産  
 ノ整理ニ注ギ、自ラ政務調査局ヲ設ケテ  
 陸海軍整理論、帝國國有財産總覽等ヲ著  
 シ大イニ國政ニ貢獻セントスルノ時偶  
 々病ニ罹リ逝去ス。

坂井大輔君 正五位

選舉區	福岡縣第四區
出身地	福岡市
生年月日	明治二十年十月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會常議員 遞信參與官 立憲政友會總裁秘書 同 幹 事
衆議院議員 當選回数	五回 14 15 16 17 18
逝去年月日	昭和七年五月九日(行年四十六歲)
墳墓所在地	東京市瀧野川區瀧野川町 圓勝寺
相續者氏名 及住所名	坂井平八郎君 東京市杉並區大宮前六ノ四一三



君、人ト爲リ精悍ニシテ膽略アリ、夙ニ米國ニ留學シ其ノ業ヲ卒ヘ歸朝後大正九年衆議院議員ニ舉ゲラレ累選五回、華盛頓會議ノ際ハ外務省囑託トシテ出張ヲ命ゼラル、昭和三年四月遞信參與官ニ任ゼラレ同七月之ヲ辭シ犬養總裁ノ秘書トナル。柔道五段。

佐藤政五郎君 正六位勳四等

選舉區	神奈川県郡部
出身地	東京市
生年月日	安政四年三月 日
經歷ノ一班	神奈川縣會議員 衆議院議員 同 議 長 立憲政友會協議員 横濱商業會議所議員
衆議院議員當選回数	一回 12
逝去年月日	昭和六年一月二十三日(行年七十五歲)
墳墓所在地	横濱市中區地藏坂町 蓮光寺
相續者氏名及住所	佐藤政五郎君 横濱市中區日本大通二四



君、人ト爲リ堅忍不拔精力人ニ絶ス、明治初年横濱市開港ノ時ニ際シ、君志ヲ立テ、同地ニ移住シ、奮闘多年能ク其ノ業ニ勵精シ終ニ成功ノ域ニ達ス、大正四年選マレテ衆議院議員トナリ政友會神奈川支部幹事長ニ舉ゲラル、又常ニ身ヲ公益ニ委ネ私財ヲ投ジテ各ム所ナク郷黨其篤行ヲ稱ス。

菊 亭 修 季 君

從二位 侯

出身地	京都市
生年月日	安政四年五月六日
經歷ノ一斑	農務局事務取扱 貴族院議員 北海道事業管理局事務取扱 立憲政友會協議員 札幌産業事務所副長 同 幹事長
薨去年月日	明治三十八年十月八日(行年五十歲)
墳墓所在地	東京市大森區池上町 本門寺
相續者氏名及住所	侯爵菊亭公長君 京都市上京區上御靈馬場町三六六 東京市中野區小瀧町四六(別邸)



君、攝録ノ門ニ出テ資望ノ高キヲ以テ謙讓  
 士ニ下リ、氣宇卓犖事ニ臨ミテ堅忍不拔奪  
 フベカラザルノ節アリ、夙ニ意ヲ北海道開  
 拓ノ事ニ注ギ、同地ニ移住シテ自ラ經營ノ  
 任ニ當ル、明治三十七年本會ニ入會シ翌三  
 十八年幹事長ニ拔擢セラレ將ニ其ノ手腕  
 ヲ發揮セントスルノ時ニ方リ、不幸病ニ罹  
 リ前途有爲ノ才ヲ抱キ長逝セリ。

菊池 侃二君 正五位勳四等

選舉區	大阪府大阪市
出身地	金澤市
生年月日	嘉永三年九月 日
經歷ノ一斑	大阪府會議員 大阪市會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 大阪府知事
衆議院議員 當選回数	三回 1 10 11
逝去年月日	昭和七年十一月二十五日(行年八十三歲)
墳墓所在地	大阪市天王寺區六萬體町 太平寺
相續者氏名 及住所	菊池 義郎君 東京市大森區久ヶ原町



君、資性温良快濶ニシテ夙ニカヲ立憲政治ノ  
 達成ニ盡シ、立憲政黨新聞、關西日報等ヲ發刊  
 シテ輿論ノ指導ニ努ム、明治二十三年第一回  
 總選舉ニ際シ衆議院議員ニ當選シ更ニ明治  
 四十一年以來當選スルコト二回、大正二年第  
 一次山本内閣ノ成立ニ際シ、黨議ノ同内閣ヲ  
 支持スルニ決スルヤ氏ハ其所信ヲ異ニスル  
 ノ故ヲ以テ同志ト共ニ本會ヲ脱シ別ニ政友  
 俱樂部ヲ組織セリ、又大阪府知事ニ任ゼラレ  
 令名アリ、餘技トシテ謠曲ニ堪能ナリ。

北村左吉君 勳四等

選舉區	大阪府堺市
出身地	金澤市
生年月日	安政元年十月 日
經歷ノ一班	大阪府會議員 堺市會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員 當選回数	三回 789
逝去年月日	大正十年五月二十四日(行年六十八歲)
墳墓所在地	堺市 妙國寺
相續者氏名 及住所	北村五良君 兵庫縣西宮市松原町五八



君、資性敦厚ニシテ謙虛己ヲ持シ、以テ後進ヲ指導ス、明治三十五年衆議院議員ニ當選シテ以來累選三回、常ニカヲ國家憲政ノ發達ニ盡シ又本會協議員ニ舉ゲラレ黨勢ノ發展ニ貢獻スル所尠カラズ、後政界ヲ隱退シ専ラ心ヲ地方教育ノ事業ニ傾注セリ。

### 木戸 豐吉君

選舉區	京都府第五區
出身地	京都府船井郡胡麻鄉村
生年月日	文久二年八月 日
經歷ノ一斑	京都府會議員 同 議 長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	二回 10 15
逝去年月日	昭和二年三月十五日(行年六十六歲)
墳墓所在地	京都府船井郡胡麻鄉村字上胡麻 木戸家墓地
相續者氏名及住所	木戸雄一郎君 京都府船井郡胡麻鄉村字上胡麻



君、人ト爲リ清廉高雅ニシテ、確乎タル信念ト實行ノ果斷力ヲ有シ、少フシテ公職ニ就キカヲ地方開發ニ盡シ屢々京都府會議員ニ選マレ尋デ議長ニ舉ゲラル、又衆議院議員ニ當選スルコト二回、京都府ニ於ケル我黨ノ長老トシテ終始一貫黨務ニ盡瘁セリ。

柚木慶二君 勳四等

選舉區	鹿兒島縣郡部
出身地	鹿兒島縣始良郡加治木町
生年月日	安政六年九月 日
經歷ノ一班	鹿兒島縣會議員 鹿兒島新聞社社長 衆議院議員 立憲政友會院內主事 同 幹 事 同 協議員
衆議院議員當選回数	六回 7 8 9 10 11 12
逝去年月日	大正五年二月十一日 (行年五十八歲)
墳墓所在地	鹿兒島縣始良郡加治木町大字日木山 能仁寺
相續者氏名及住所名	柚木郁之助君 鹿兒島縣始良郡加治木町反土八〇



君、資性英邁ニシテ操守堅實、自ラ功ニ誇ラズ、夙ニ憲政ノ大義ヲ唱ヘテ後進ヲ指導シ、鹿兒島新聞社長トシテ令名アリ、明治三十五年以來衆議院議員ニ當選スルコト六回議政ニ參シテハ常ニ力ヲ國運ノ發展ニ效シ兼テ黨務ニ勵精シテ本會ノ爲メ貢獻スル所尠カラズ。

湯山壽介君

從六位 勳四等

選舉區	靜岡縣郡部
出身地	靜岡縣駿東郡菅沼村
生年月日	安政五年十月 日
經歷ノ一斑	靜岡縣會議員 同 副議長 靜岡縣農會長 衆議院議員 立憲政友會院內主事 同 協議員
衆議院議員當選回数	二回 89
逝去年月日	大正十二年十二月十二日 (行年六十六歲)
墳墓所在地	靜岡縣駿東郡小山町 菅沼墓地
相續者氏名及住所	湯山保壽君 沼津市綠町八八九ノ一



君、資性温厚ニシテ常ニ産業ノ開發ト自治ノ發達ニ努ム、初メ静岡縣會議員ニ當選シ尋デ同縣農會々長ニ舉ゲラレ縣政ノ改善ニ盡瘁セリ、明治三十六年衆議院議員ニ當選シ本會院内主事及協議員ニ就任シテ貢獻スル所尠カラズ。

藥袋義一君

正七位

選舉區	山梨縣郡部
出身地	山梨縣中巨摩郡龍王村
生年月日	安政元年十二月 日
經歷ノ一班	山梨縣會議員 山梨同進會幹事 衆議院議員 立憲政友會創立委員會幹事 同常任幹事
衆議院議員當選回数	三回 257
逝去年月日	明治三十六年二月十日(行年五十歲)
墳墓所在地	山梨縣西八代郡大塚村 藥袋家墓地
相續者氏名及住所	藥袋正一君 東京市世田ヶ谷區下町一三一



君、資性英邁卓犖ニシテ夙ニ經世濟民ノ志アリ、明治二十五年衆議院議員ニ當選スルヤ子爵品川彌二郎氏等ト計リ國民協會ヲ組織セシモ、明治三十三年本會ノ創立セララルニ方リ之レニ參畫シテ創立事務ヲ鞅掌シ尋デ常任幹事ニ舉ゲラレ、黨務ニ精勵シテ黨衆ノ信望ヲ博シ、前途ノ大成ヲ期待セラレタルノ時偶々病ニ罹リ逝去ス。

三輪市太郎君 從五位勳三等

選舉區	愛知縣第三區
出身地	愛知縣海部郡八開村
生年月日	慶應三年四月 日
經歷ノ一斑	愛知縣會議員 同 副議長 同 議長 帝國農會評議員 衆議院議員 立憲政友會幹事 同 院內幹事 立憲政友會常務員會長 同 黨務員會理事 同 院內總務 請願委員長
衆議院議員當選回数	六回 11 12 13 14 15 16
逝去年月日	昭和五年二月八日(行年六十四歲)
墳墓所在地	愛知縣海部郡八開村大字給火 三輪家墓地
相續者氏名及住所	三輪 誠君 名古屋市東區西二葉町一八



君、人ト爲リ豪放滑脱ニシテ智謀ニ富ミ、常ニ自治ノ發達ヲ圖リ縣政ニ貢獻スル所尠カラズ、明治四十五年衆議院議員ニ當選シ本部協議員ニ舉ゲラレテヨリ累選六回、屢々黨ノ樞機ニ參與シテ專心黨勢ノ擴張ニ努メ、又帝國農會評議員トナリ農業政策ノ確立ヲ主張シ農村振興ニ盡瘁シ郷黨ニ推稱セラル。

宮崎榮治君 勳四等

選舉區	長崎縣郡部
出身地	長崎縣南松浦郡福江町
生年月日	安政二年五月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	八回 1 3 4 5 6 7 8 9
逝去年月日	大正四年一月二十五日(行年六十一歲)
墳墓所在地	長崎縣南松浦郡福江町字北町 宮崎家墓地
相續者氏名及住所	宮崎直君 長崎縣南松浦郡福江町福江郷六五五



君、資性剛直ニシテ人ニ屈セズ、夙ニ地方制度ノ改善ヲ唱導シテ郷黨ヲ指導ス、明治二十三年以來屢々衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與スルヤ、政務ノ得失ニ關シテハ常ニ諍々トシテ其ノ所懷ヲ主張シ、又本會協議員ニ舉ゲラレ恪勤勵精孜々トシテ怠ル所ナク、終始一貫黨務ニ盡瘁セリ。

### 宮井茂九郎君

選舉區	香川縣郡部
出身地	香川縣綾歌郡坂本村
生年月日	嘉永六年九月 日
經歷ノ一班	香川縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	五回 5 6 7 8 9
逝去年月日	明治三十九年十一月十七日(行年五十四歲)
墳墓所在地	香川縣綾歌郡坂本村字川原 宮井家墓地
相續者氏名及住所	宮井甚藏君 (白山水力主事) 東京市麻布區筈町一七五



君、人ト爲リ沈黙寡言理智ニ長ジ、事ニ臨ミテ明斷果決遂グズンバ己マザルノ概アリ、明治三十年衆議院議員ニ當選シテ以來選ヲ累スルコト五回、議政ニ參シテハ常ニ行政財政ノ整理、國民負擔ノ均衡其他本會ノ政策ヲ支持シテ其ノ貫徹ニ努メ又香川縣農工銀行取締役、高松砂糖株式會社取締役、讃岐紡績株式會社取締役等ニ就任セリ。

翠川鐵三君

選舉區	長野縣郡部
出身地	長野縣小縣郡和田村
生年月日	萬延元年一月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會協議員 同幹事
衆議院議員當選回数	三回 10 11 12
逝去年月日	大正五年三月二十六日(行年五十七歲)
墳墓所在地	東京市豊島區雜司ヶ谷町 雜司ヶ谷墓地
相續者氏名及住所	翠川 浩君 東京市澁谷區若木町二六



君、資性豪邁不羈ニシテ自信ニ篤ク、明治四十一年衆議院議員ニ當選シテヨリ以來累選三回、議政ニ參シテハ常ニ讜言ヲ盡シテ憚ル所ナク、群議ヲ抵排スルノ概アリ、又愛黨ノ念熾烈ニシテ本會ノ爲メ貢獻スル所尠カラズ。

三浦盛徳君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
秋田縣郡部	秋田縣山本郡鶴川村	萬延元年一月 日	秋田縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 立憲政友會院内主事	四回 8 9 10 11	大正五年九月十七日 (行年五十七歲)	秋田縣山本郡鶴川村 館ノ上墓地	三浦正行君 海軍少尉トナリ大正元年九月二十二日歿ス 相續者ナシ



君、資性沈毅寡黙ニシテ、常ニ自治ノ發達ト産業ノ改善振興ニ盡瘁シ、明治三十六年以來屢々衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與シ、孜々トシテ憲政ノ濟美ニ努メ又本會院內主事及協議員等ニ就任シ黨務ニ勵精シテ貢獻スル所多シ。

### 三浦數平君

選舉區	大分縣第一區
出身地	大分縣大分郡荏隈村
生年月日	明治四年一月 日
經歷ノ一班	東京朝日新聞記者 大分縣會議員 立憲政友會幹事 大分市會議員 大分市長 同議院長 衆議院議員
衆議院議員當選回数	二回 15 16
逝去年月日	昭和四年九月七日(行年五十九歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町(生家)櫻井家墓地
相續者氏名及相續住所	三浦義一君 東京市目黒區上目黒八ノ四〇七 東京市澁谷區千駄ヶ谷町五ノ八三六



君、資性質實ニシテ機略アリ、夙ニ操觚界ニ身ヲ起シ、司法官ニ任ゼラレ後辭シテ辯護士トナル、大分市會議員、同議長、大分縣會議員等ニ選マレ三度大分市長ニ就任シテ都市計畫事業ニ貢獻スル所尠カラズ、大正十三年衆議院議員ニ當選シテ本部幹事ニ舉ゲラレ黨務ニ勵精セリ。

水之江文二郎君 從六位

選舉區	大分縣郡部
出身地	大分縣宇佐郡和間村
生年月日	萬延元年十月 日
經歷ノ一斑	大分縣會議員 同議長 衆議院議員 立憲政友會協議員 同大分縣支部長
衆議院議員當選回数	二回 7 8
逝去年月日	昭和四年二月十一日(行年七十歲)
墳墓所在地	大分縣宇佐郡封戸村字大久保 水之江家墓地
相續者氏名及住所	水之江文彦君 大分縣宇佐郡封戸村



君ハ大分縣宇佐郡和間村鶴田文左衛門氏ノ  
 二男ニシテ、貴族院議員水之江浩君ノ養子ト  
 ナル、資性質實溫厚ニシテ聞達ヲ求メズ、父祖  
 ノ業ヲ繼承シテ農事ニ勵精シ、現ニ同縣多額  
 納稅者タリ、明治三十五年選マレテ衆議院議  
 員トナリ、議政ニ參シ會期僅カニ二旬ニ滿タ  
 ズシテ解散、尋デ同三十六年再選シテ議席ニ  
 列シ勅語奉答文決議ニ際シ再ビ解散ノ暴壓  
 ニ遭ヒシヨリ以來、屢々立憲政友會大分縣支  
 部長ニ就任シ本會ノ爲メ盡瘁セラレタリ。

### 水間 此農夫君

選舉區	宮崎縣郡部
出身地	香川縣綾歌郡西分村
生年月日	慶應元年五月 日
經歷ノ一斑	宮崎縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 立憲政友會院内主事
衆議院議員當選回数	二回 10 11
逝去年月日	大正十一年三月十九日(行年五十八歲)
墳墓所在地	宮崎市惠比壽町 水間家墓地
相續者氏名及住所	水間 繁君 宮崎縣宮崎郡青島村

水間此農夫君



君、人ト爲リ外温厚ニシテ内ニ勁節ヲ抱  
 キ、夙ニ地方産業ノ開發ト自治ノ發達ニ  
 努メ、宮崎水産物販賣組合長及宮崎林業  
 株式會社等ノ重役トナリ、宮崎縣會議員  
 ニ舉ゲラル、明治四十一年衆議院議員ニ  
 當選シテ本會院內主事及協議員ニ舉ゲ  
 ラレ黨務ニ盡瘁セリ。

### 宮崎 鋪三郎君

選舉區	埼玉縣郡部
出身地	埼玉縣北足立郡與野町
生年月日	安政三年十一月 日
經歷ノ一斑	衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員 當選回数	二回 78
逝去年月日	明治三十九年十月二十二日(行年五十一歳)
墳墓所在地	埼玉縣北足立郡浦和町 玉藏院
相續者氏名 及住所	宮崎 一君 (衆議院議員) 埼玉縣北足立郡浦和町一六四



君、資性不羈剛直ニシテ義侠ノ念強ク、夙ニ政黨政治ノ達成ニ努メ、後進ヲ指導シテ聲望アリ、明治三十六年桂内閣ノ第十一議會ニ提案シタル歲計豫算ニ對シ財政緊縮、新事業中止、公債不募政策、海軍擴張等ニ關シ政府ト本會トノ妥協成立スルヤ同志ト共ニ極力之ヲ非トシ、延テ黨制改革問題ヲ惹起シテ黨議ト其所信ヲ異ニシ、脫會ヲ聲明セラレタルモ、黨友ノ慰撫ニヨリ留黨シ終始一貫黨勢ノ發展ニ盡瘁セリ、嗣子一君亦乃父ノ遺志ヲ繼ギ衆議院議員ニ當選シ議政ニ參シ硬骨ヲ以テ稱セラル。

### 宮本逸三君

選舉區	茨城縣第三區
出身地	茨城縣久慈郡金郷町
生年月日	安政六年十月 日
經歷ノ一班	茨城縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	二回 13 15
逝去年月日	昭和五年四月十五日(行年七十二歲)
墳墓所在地	茨城縣那珂郡芳野村 宮本家墓地
相續者氏名及住所名	宮本正木君 茨城縣那珂郡芳野村



君ハ寡言實行ノ人ニシテ理財ノ才ニ長ズ、大正六年選マレテ衆議院議員トナリ大正十三年再選、本會協議員ニ舉ゲラレ會務ニ盡瘁セリ、又水濱電車株式會社取締役、日本耐火工業株式會社取締役トナリ屢々茨城縣會議員ニ當選シ縣政ニ貢獻シテ功績尠カラズ。

重岡 薰五郎君 正五位

選舉區	愛媛縣郡部
出身地	愛媛縣喜多郡内子村
生年月日	文久二年一月 日
經歷ノ一班	外務省通商局長 衆議院議員 文部省總務長官 立憲政友會協議員 立憲政友會臨時協議員
衆議院議員當選回数	七回 3 4 5 6 7 8 9
逝去年月日	明治三十九年六月二十一日(行年四十五歲)
墳墓所在地	愛媛縣喜多郡内子町 重岡家墓地
相續者氏名及相續住所	重岡 忠三君 愛媛縣喜多郡内子町



君、天資聰敏、弱冠志ヲ立テテ佛國ニ留學シ  
 博士ノ稱號ヲ得テ歸朝シ、外務省通商局長  
 ニ任ゼラレシモ後之ヲ辭シ、自由黨ニ加盟  
 シテ自由民權ノ說ヲ唱導ス、明治三十三年  
 第四次伊藤內閣成ルニ迨ビ文部省總務長  
 官ニ舉ゲラレシモ幾クモナク之ヲ辭シ、本  
 會協議員トシテ專心黨務ニ盡瘁セリ。

### 重野謙次郎君

選舉區	山形縣山形市
出身地	山形縣東村山郡天童町
生年月日	安政元年十月 日
經歷ノ一斑	山形縣會議員 山形市會議員 立憲政友會幹事 同 副議長 衆議院議員 同 議長 立憲政友會臨時協議員
衆議院議員 當選回数	五回 2 3 4 6 7
逝去年月日	昭和五年十一月五日(行年七十七歲)
墳墓所在地	横濱市鶴見町 總持寺
相續者氏名 及住所名	重野謙吉君 東京市麴町區平河町六ノ一四



君、人ト爲リ聰敏ニシテ機略ニ富ミ、政界ニ活躍スルコト多年、山形縣會議員ニ當選シテ議長ニ舉ゲラレ縣政ニ貢獻シテ聲望アリ、明治二十五年以來屢々衆議院議員ニ當選シ明治三十三年本會ノ創立ニ方リ臨時協議員トナリ尋デ幹事ニ就任シテ黨務ニ盡瘁セリ。

## 白石直治君

從五位 勳四等 工學博士

選舉區	高知縣郡部
出身地	高知縣長岡郡十市村
生年月日	安政四年十月 日
經歷ノ一班	東京帝國大學教授 鐵道會議々員 衆議院議員 立憲政友會協議員 同 政務調査會副會長 同 會長 立憲政友會相談役 全院委員長
衆議院議員當選回数	三回 11 12 13
逝去年月日	大正八年二月十七日(行年六十三歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町 青山墓地
相續者氏名及住所	白石多士良君 東京市麻布區飯倉四ノ二二



君、人ト爲リ宏才敏行ニシテ經術深邃、夙ニ官界ニ重用セラレシモ之ヲ辭シ、鐵道建設、港灣改修ノ事業ヲ督シ、九州鐵道、關西鐵道、若松築港株式會社等ノ社長ニ就任シテ聲望頗ル隆ク、明治四十五年鄉黨ノ推ス處トナリ、衆議院議員ニ當選シ累選三回、本會協議員、政務調査會々長、相談役等ノ要職ニ就キ黨務ニ盡瘁シ、大正三年全院委員長ニ舉ゲラル。 號南岳

志賀重昂君 正五位

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
愛知縣郡部	岡崎市	文久三年九月 日	農商務省山林局長 外務省參事官 衆議院議員 立憲政友會會報主任 同 參與官	二回 7 8	昭和二年四月六日(行年六十五歲)	岡崎市中町 釋迦堂境内	志賀富士男君 (跡見女學校教授) 澁谷區代々木初臺四八〇



君、天資聰敏濶達ニシテ言論文章ニ長シ矧川ト號ス、博覽ニシテ創見ニ富ミ明治三十三年本會ノ創立ニ際シ選マレテ會報主任トナリ、孜々トシテ本會ノ基礎工作ニ勵精シ、黨勢ノ發展ニ努メ、政黨政治ノ達成ニ盡瘁シテ衆望アリ、明治三十五年衆議院議員ニ當選シ幾クモナク解散、同三十六年再選セラレタルモ亦會期旬日ニ滿タズシテ解散セラレタル以來再ビ政界ニ其名ヲ著スニ至ラズ、又岡崎商業會議所特別議員、早稻田大學教授等トナル。

## 庄野金十郎君

選舉區	福岡縣郡部
出身地	福岡縣筑紫郡警固村
生年月日	安政四年二月 日
經歷ノ一班	福岡縣會議員 同 議長 福岡日日新聞社長 立憲政友會福岡縣支部長 衆議院議員
衆議院議員當選回数	一回 10
逝去年月日	昭和三年八月十三日(行年七十二歲)
墳墓所在地	福岡市本庄町 法泉寺
相續者氏名及住所	庄野隆雄君 福岡市本庄町



君、資性卓犖ニシテ俊偉、夙ニ立憲政體ノ確立ヲ期シ、官僚閥族ノ暴壓ニ抗爭シ、福岡日日新聞社長及立憲政友會福岡縣支部長ニ舉ゲラレ聲望アリ、明治四十一年衆議院議員ニ推選セララル、其當選ハ一回ナリシト雖モ、多年同縣政界ノ重鎮トシテ本會ニ盡瘁シタルノ功績ハ永遠ニ沒スベカラズ。

志々目藤彦君 勳四等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
鹿兒島縣郡部	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	明治三年一月 日	鹿兒島縣會議員 同 副議長 衆議院議員 立憲政友會協議員	三回 11 12 13	昭和二年六月七日(行年五十八歲)	鹿兒島縣揖宿郡喜入村字中名 玉繁寺	志々目美知君 鹿兒島縣揖宿郡喜入村中名六、九五二



君、人ト爲リ身材魁梧、資性沈毅素朴ニシテ名利ニ屑々タラズ、常ニ心ヲ地方産業ノ發達ニ注ギ、鹿兒島縣會議員ニ當選シテ議長ニ舉ゲラレ縣政ニ貢獻スル所尠カラズ、明治四十五年以來屢々衆議院議員ニ舉ゲラレ議政ニ參與シテ憲政ノ發達ニ盡瘁セリ。

志波三九郎君 從四位

選舉區	長崎縣第三區
出身地	長崎縣南高來郡神代村
生年月日	嘉永三年三月 日
經歷ノ一斑	長崎縣會議員 同 議長 靜岡縣知事 秋田縣知事 立憲政友會協議員 衆議院議員
衆議院議員當選回数	三回 3 4 5
逝去年月日	明治三十六年六月二十九日(行年五十四歲)
墳墓所在地	長崎縣南高來郡神代村字中川原 志波家墓地
相續者氏名及住所	嗣子志波安一郎君 (衆議院議員當選四回昭和七年六月十日逝去) 孫 志波威和夫君 長崎縣南高來郡神代村戌六二〇



君、人ト爲リ英邁ニシテ、夙ニ經世ノ志ヲ抱キ、政界ニ活躍スルコト多年、長崎縣會議長ニ舉ゲラレ又石川、静岡、秋田等ノ各縣知事ニ歷任シテ令名アリ、明治二十七年以來衆議院議員ニ當選スルコト三回、本會ノ創立ニ參加シテ協議員ニ就任シ黨務ニ盡瘁セリ。嗣子安一郎君亦乃父ノ志ヲ繼ギ、大正十三年以來衆議院議員ニ當選スルコト四回資性真摯温厚ニシテ黨務ニ勵精セラレタルモ在任中病ニ罹リ逝去ス。

篠原和市君 從五位

選舉區	長野縣第二區
出身地	長野縣南佐久郡岸野村
生年月日	明治十四年三月 日
經歷ノ一斑	東京日日新聞記者 大阪毎日新聞記者 衆議院議員 司法大臣秘書官 內務大臣秘書官
衆議院議員當選回数	三回 15 16 17
逝去年月日	昭和五年八月十三日(行年五十歲)
墳墓所在地	神奈川縣川崎市 平間寺
相續者氏名及住所	絶家



君、少フシテ身ヲ操觚界ニ投ジ、資性磊落、天真流露掬スベキノ情味アリ、大正九年時ノ司法大臣鈴木喜三郎君ノ信任ヲ得テ秘書官ニ擧ゲラレ、尋デ内務大臣秘書官ニ歴任シ、其ノ後援ニ因リテ衆議院議員ニ當選スルコト三回、將ニ本會總裁秘書トシテ政界ニ活躍セントスルノ時ニ方リ偶々急患ヲ發シ逝去ス。

庄司良朗君 從七位勳四等功五級

選舉區	靜岡縣第二區
出身地	靜岡縣駿東郡原町
生年月日	明治十二年十二月 日
經歷ノ一斑	陸軍歩兵中尉 駿豆新聞社長 立憲政友會幹事 沼津商業學校教諭 靜岡新報社主 同黨務員會理事 靜岡縣會議員 衆議院議員 同政務調査會理事
衆議院議員當選回数	三回 15 16 17
逝去年月日	昭和六年六月二十二日(行年五十三歲)
墳墓所在地	靜岡縣駿東郡原町 昌原寺
相續者氏名及住所	庄司義夫君 仙臺市米ヶ袋中町四四



君、人ト爲リ豪毅果斷ニシテ闘志ニ富ミ、俠骨稜々トシ  
 テ寸鐵人ヲ刺スノ概アリ、而カモ身ヲ持スル恬淡清廉、  
 人ノ爲メニ計ルコト懇切周到ナルヲ以テ郷黨ノ信望  
 ヲ博シ、静岡縣會議員ニ舉ゲラレ、地方開發ノ爲メ盡瘁  
 スル處尠カラズ、昭和元年衆議院議員ニ當選シ爾來累  
 選三回政界ニ活躍シテ、東奔西走席溫マルニ暇ナク本  
 部幹事、黨務員會理事、政務調査會理事等ニ就任シテ黨  
 務ニ勵精シ又沼津商業學校教諭、駿豆新聞社長トナリ  
 後進ヲ指導シテ其ノ功績尠カラズ。

## 新 開 貢 君

選舉區	德島縣郡部
出身地	德島縣勝浦郡小松島町
生年月日	安政六年七月 日
經歷ノ一班	德島縣會議員 同 副議長 衆議院議員 立憲政友會院內主事
衆議院議員 當選回数	二回 67
逝去年月日	大正十三年八月十日(行年六十六歲)
墳墓所在地	德島縣勝浦郡小松島町大字芝生 新開家墓地
相續者氏名 及住所	新開五郎君 大連市沙河口大正通一六八



君、資性敦厚ニシテ膽略アリ、常ニ地方産業ノ開發ニ努メ、徳島縣會議員ニ選マレ尋デ副議長ニ舉ゲラル、明治三十一年衆議院議員ニ當選シ同三十三年本會創立ノ際入會シテ院內主事ニ舉ゲラレ黨務ニ盡瘁セリ、又徳島縣農工銀行設立ニ際シ創立委員トナル。

平山靖彦君

正四位勳三等

選舉區	廣島縣第一區
出身地	廣島市
生年月日	弘化元年十月 日
經歷ノ一班	秋田縣知事 衆議院議員 貴族院議員 大分縣知事 立憲政友會發會準備委員 錦鷄間祇候 佐賀縣知事 同 協議員
衆議院議員當選回数	一回 2
逝去年月日	大正元年十二月九日(行年六十九歲)
墳墓所在地	東京市赤坂區青山南町四丁目 梅窓院
相續者氏名及住所	平山千秋君 廣島市觀音町



君、資性英邁ニシテ自ラ功ニ誇ラズ、諸官ニ  
 歴任シテ勳績夙ニ著ハル、明治三十三年本  
 會ノ創立ニ際シ推サレテ發會準備委員ト  
 ナリ尋テ協議員ニ舉ゲラレ、黨務ニ勵精シ  
 テ衆望アリ、明治四十年十一月貴族院議員  
 ニ勅選セラル、政黨員ニシテ貴族院議員ニ  
 勅選セラレタルモノ實ニ君ヲ以テ嚆矢ト  
 ス、後錦鷄間祇候ニ任ゼラル。

平出喜三郎君 (初代)

選舉區	北海道函館區
出身地	石川縣江沼郡橋立村
生年月日	天保十二年九月 日
經歷ノ一班	函館商業會議所會頭 北海道々會議員 同 議長 立憲政友會創立委員 衆議院議員 立憲政友會北海道支部創立委員
衆議院議員 當選回数	一回 7
逝去年月日	明治四十年三月七日 (行年六十七歲)
墳墓所在地	函館市 東本願寺
相續者氏名 及住所	二代平出喜三郎君 (衆議院議員當選四回、昭和六年十月逝去) 孫 平出逸郎君 函館市船見町七二



君、人ト爲リ堅忍不拔、精力絶倫、少壯志ヲ立  
 テテ北海道ニ移住シ、拮据奮闘終ニ成功ノ  
 域ニ達シ家運大イニ舉ル、明治三十三年本  
 會ノ組織セラルルニ方リ、推サレテ創立委  
 員トナリ、黨務ニ勵精シテ黨勢ノ發展ニ盡  
 瘁セリ。嗣子喜三郎君亦乃父ノ遺志ヲ繼承  
 シ衆議院議員ニ當選スルコト四回、本會ノ  
 爲メ貢獻スル所尠カラズ。

日向輝武君 勳四等

選舉區	群馬縣郡部
出身地	群馬縣西群馬郡井出村
生年月日	明治三年八月 日
經歷ノ一斑	人民新聞社長 日本電報通信社取締役 衆議院議員
衆議院議員 當選回数	五回 7 8 9 10 11
逝去年月日	大正七年五月二十八日(行年四十九歲)
墳墓所在地	東京市瀧野川區田端町 東覺寺
相續者氏名 及住所	日向春光君 東京市小石川區大塚坂下町三六



君、人ト爲リ精悍敏英ニシテ氣ニ富ミ、器度豪放ニシテ人ニ屈セズ、夙ニ藩閥政治ノ積弊ヲ除キテ立憲政治ノ達成ヲ期シ、人民新聞社長、日本電報通信社取締役トシテ政界ニ活躍スルコト多年、明治三十五年衆議院議員ニ當選シテ以來選ヲ累スルコト五回、常ニ自己ノ所信ニ邁進シテ妥協協調ノ雅量ニ乏シキヲ以テ、晩年轆轤數奇ヲ極メ不遇ニ終レリ。

平 沼 專 藏 君 正五位 勳五等

選舉區	神奈川県横濱市
出身地	埼玉縣入間郡飯能町
生年月日	天保七年正月 日
經歷ノ一班	神奈川県會議員 横濱市會議員 衆議院議員 貴族院議員(多額納稅者互選議員) 横濱市水道事務所長
衆議院議員當選回数	一回 7
逝去年月日	大正二年四月六日(行年八十三歲)
墳墓所在地	横濱市中區元町 増徳院
相續者氏名及住所	平沼義太郎君 東京市荏原區上大崎町長者丸三〇二



君ハ力行自成ノ人、夙ニ産業立國ノ主義ヲ抱持シ、特ニ横濱港ノ開發ニ盡瘁シテ貢獻スル所尠カラズ、明治三十五年衆議院議員ニ當選シ尋デ貴族院議員(多額納稅者互選議員)ニ勅任セラレ終始一貫シテ開國進取ノ國是ニ基キ國運ノ開發ニ盡瘁セリ、功ニ依リ位勳及金製黃綬褒章ヲ授與セラル。

### 平田力之助君

選舉區	三重縣郡部
出身地	三重縣三重郡大矢知村
生年月日	慶應三年正月 日
經歷ノ一班	三重縣會議員 衆議院議員 立憲政友會院內主事
衆議院議員當選回数	三回 678
逝去年月日	昭和七年十月一日(行年六十八歲)
墳墓所在地	三重縣三重郡大矢知村 平田家墓地
相續者氏名及住所	平田眞澄君 三重縣三重郡富田町



君、人ト爲リ眞摯温厚ニシテ、夙ニ自治ノ發達ト地方産業ノ振興ニ盡瘁シ明治三十一年衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與シ、尋テ同三十五年、同三十六年ノ二回當選シタルモ、前者ハ會期十九日間、後者ハ會期僅カニ一日ヲ以テ解散セラレテヨリ以來、念ヲ政界ニ斷チ專ラ書畫刀劍ニ趣味ヲ有シ常ニ裏面ニ在リテ黨勢ノ發展ニ貢獻セリ。

廣澤辨二君 正五位

選舉區	青森縣郡部
出身地	福島縣若松市
生年月日	文久二年五月 日
經歷ノ一斑	牧馬監督官 農商務省技師 馬政官 東京獸醫學校長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	一回 11
逝去年月日	昭和三年八月八日(行年六十七歲)
墳墓所在地	青森縣上北郡三澤村 早稻田墓地
相續者氏名及住所	廣澤春彦君 青森縣上北郡三澤村字早稻田二〇三



君、資性直諒沈毅ニシテ常ニ報效ヲ念トス、先代ノ遺業ヲ繼承シテ地方畜産ノ改良發達ニ盡瘁シ、斯界ノ泰斗トシテ重望ヲ負フ、明治四十五年衆議院議員ニ當選シ、國政ニ參與シ在職三年、師團増設ノ議ニ反對シ解散セラル、又牧馬監督官、馬政官、馬政局技師、東京獸醫學校長等ニ歷任シ、畜業視察ノ爲メ屢歐米各國ニ差遣セラル。

廣瀬鎮之君 正六位

選舉區	富山縣第六區
出身地	富山縣氷見郡藪田村
生年月日	元治元年六月 日
經歷ノ一班	衆議院議員 立憲政友會富山縣支部長 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	三回 11 13 14
逝去年月日	昭和五年十月 日 (行年六十七歲)
墳墓所在地	富山縣氷見郡藪田村字小杉 廣瀬家墓地
相續者氏名及住所	廣瀬豐枝子(未亡人) 富川縣氷見郡藪田村大字小杉 (未亡人歿後ハ絶家ノ豫定)



君、資性剛直ニシテ、人ニ對スルニ同情饒ク、後進ヲ誘掖シテ敢テ自ラ求ムル所ナク、又常ニ私財ヲ投ジテカヲ公共ノ事ニ盡ス、明治四十五年衆議院議員ニ當選シ議政ニ參シテハ專ラ水産事業ノ開發ニ盡瘁セリ、昭和五年十月病革ルヤ遺言シテ其ノ資産全部ヲ舉ゲテ同地ノ公共團體ニ寄附ス、郷黨共篤行ヲ表彰シ銅像ヲ其邸内ニ建設セリ。

森

恪君

從四位勳二等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
栃木縣第一區	大阪府	明治十六年二月 日	三井物産株式會社天津支店長 衆議院議員 立憲政友會幹事 同 幹事長 立憲政友會顧問 同 總務委員 外務政務次官 同 內閣書記官長兼恩給局長	五回 14 15 16 17 18	昭和七年十二月十一日(行年五十歲)	東京市赤坂區青山南町 青山墓地	森 新君 東京市澁谷區千駄ヶ町五六二



君、人ト爲リ卓犖不羈ニシテ勇斷果決、遂グズンバ已マザルノ概アリ、大正九年衆議院議員ニ當選シテ以來累選五回常ニ本會ノ樞機ニ參畫シテ聲望アリ、昭和二年田中總裁組閣ノ大命ヲ拜シ内閣ヲ組織スルヤ、外務政務次官ニ舉ゲラレ、田中兼任外相ヲ佐ケテ東方會議ヲ起シ、外交及國防ノ根本政策ヲ確立セントセシモ、内閣ノ總辭職ニヨリテ其ノ志ヲ果サズ、昭和六年犬養内閣ノ成立ニ方リ内閣書記官長(親任)ノ要職ニ就任シ、縦横ノ手腕ヲ發揮シテ所期ノ目的ニ邁進セントスルノ際、偶々犬養首相ノ兇變ニ因リ雄圖空シク蹉跌シ、爾來病ニ罹リ遂ニ起タズ。

森久保作藏君 勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
東京府郡部	東京府南多摩郡七生村	安政二年六月 日	神奈川縣會議員 東京府會議員 衆議院議員 立憲政友會發會準備委員 同 協議員 東京市會議員	五回 4 9 10 11 12	大正十五年十一月四日(行年七十二歲)	東京府南多摩郡七生村 金剛寺	森久保守雄君(養子) (實子森久保善太郎君早世) 東京府南多摩郡七生村



君、資性豪放ニシテ而モ思慮細密、才氣人ニ絶シ、關東政界ノ重鎮トシテ聲望アリ、明治二十七年以來屢々衆議院議員ニ當選シ、同三十三年本會ノ創立ニ盡瘁シテ發會準備委員ニ舉ゲラレ、尋デ協議員ニ就任シテ黨務ニ勵精シ又東京市會議員トナリ、議長星亨氏ヲ佐ケテ市政ノ革新ヲ圖リ、大東京市計畫ノ基礎ヲ確立シテ貢獻スル所頗ル多シ。

望月右内君 勳四等

選舉區	和歌山縣郡部
出身地	和歌山縣伊都郡見好村
生年月日	安政五年五月 日
經歷ノ一班	和歌山縣會議員 同 議長 衆議院議員 立憲政友會協議員 同 院內幹事
衆議院議員當選回数	七回 3 4 7 8 9 10 11 (東京府郡部)
逝去年月日	大正六年二月二十六日 (行年六十歲)
墳墓所在地	東京市芝區二本板町 高野山別院
相續者氏名及住所	望月政友君 (元衆議院議員) 東京市中野區城山町三一



君、人ト爲リ豪放闊達ニシテ機略ニ富ミ、和歌山縣會議員ニ當選シテ議長ニ舉ゲラル、明治二十七年以來衆議院議員ニ當選スルコト七回、政界ニ活躍シテ聲望アリ、同志ト共ニ鐵道同志會ヲ設立シテ其會長ニ舉ゲラレ、鐵道政策ノ完成ニカヲ竭シ、又産業ノ開發ニ盡瘁シ、東京電燈株式會社專務取締役トナリ令名アリ。

### 森 東一郎君

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一班	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
愛知縣第五區	愛知縣中島郡三輪村	弘化四年十二月 日	愛知縣會議員 同議長 衆議院議員 立憲政友會臨時協議員	四回 1 2 3 6	昭和八年五月十五日(行年八十七歲)	愛知縣中島郡大和村 花池共同墓地	森 保定君 愛知縣中島郡大和村大字宮地花池東屋敷九十番ノ一



君、人ト爲リ穩健着實ニシテ、常ニ産業ノ發達ニ努メ、屢々愛知縣會議員ニ選マレテ議長ニ舉ゲラル、明治二十三年第一回總選舉以來衆議院議員ニ當選スルコト四回、議政ニ參與シテ田畑地價修正、米穀輸入關稅改正等ノ貫徹ニ努メ貢獻スル所尠カラズ、又尾張農工銀行取締役、其他多數會社ノ取締役トナリ、一ノ宮米穀取引所理事長ニ舉グラレ地方公共ノ事業ニ盡瘁セリ、功ニ依リ勅定藍綬褒章ヲ授與セラレ。

## 森田正路君

選舉區	福岡縣郡部
出身地	福岡縣早良郡烏飼村
生年月日	安政三年十二月 日
經歷ノ一斑	福岡縣會議員 同 議長 衆議院議員 立憲政友會協議員 福岡日日新聞社長 立憲政友會福岡縣支部長
衆議院議員當選回数	一回 13
逝去年月日	昭和四年五月十七日(行年七十四歲)
墳墓所在地	福岡市御供所町 圓覺寺
相續者氏名及相續住所	森田正敏君 福岡市大字谷五四一



君、人ト爲リ不羈豪邁ニシテ名利ニ屑々タ  
 ラズ、夙ニ立憲政治ノ確立ヲ期シ政界ニ馳  
 驅スルコト多年、立憲政友會福岡縣支部幹  
 事長及同支部長ニ歴任シテ聲望アリ、大正  
 六年衆議院議員ニ舉ゲラレ、本會協議員ニ  
 就任シ又福岡日々新聞社長トナリ、専心黨  
 勢ノ擴張ニ努メ貢獻スル所尠カラズ。

森 肇君 勳四等

選 舉 區	愛媛縣松山市
出 身 地	松山市
生 年 月 日	元治元年六月 日
經 歷 ノ 一 班	伊豫日日新聞社長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員 當選回数	三回 7 9 10
逝 去 年 月 日	昭和二年一月二十三日 (行年六十四歲)
墳 墓 所 在 地	東京市赤坂區青山南町 青山墓地
相 續 者 氏 名 及 住 所	森 安 子 東京市麴町區隼町五 森律子方



君ハ名優森律子嬢ノ嚴父ニシテ長髮ヲ以テ名アリ、人ト爲リ潤達ニシテ機略ニ富ミ、明治三十五年以來衆議院議員ニ當選スルコト三回、常ニ普選ノ實施ヲ主張シテ憲政ノ發達ヲ促ス、又伊豫日日新聞社長トナリ本會ノ爲メ盡瘁スル所尠カラズ。

森 茂生君 從六位勳三等

選舉區	出身地	生年月日	經歷ノ一斑	衆議院議員當選回数	逝去年月日	墳墓所在地	相續者氏名及住所
三重縣郡部	三重縣桑名郡益生村	慶應元年五月 日	三重縣會議員 桑名町長 同 副議長 立憲政友會院內幹事 衆議院議員	四回 8 9 10 11	昭和四年八月二十二日(行年六十五歲)	三重縣桑名町矢田 善西寺	森 幹生君 三重縣桑名町矢田町



君、人ト爲リ眞摯着實ニシテ理財ノ材ニ  
 長シ陶業ノ發展ニ努ム、明治三十六年衆  
 議院議員ニ當選シテヨリ累選四回、常ニ  
 カヲ黨勢ノ擴張ニ盡ス、又桑名商業銀行  
 頭取、同米穀取引所理事、桑名商工會々長  
 トナリ桑名町長ニ舉ゲラレ聲望アリ。

### 千田軍之助君

選舉區	和歌山縣郡部
出身地	和歌山縣那賀郡長田村
生年月日	安政三年二月 日
經歷ノ一班	紀陽新聞主筆 衆議院議員 立憲政友會協議員 立憲政友會院内幹事
衆議院議員 當選回数	四回 3 6 7 10
逝去年月日	大正三年三月二日(行年五十九歲)
墳墓所在地	和歌山縣那賀郡長田村大字北志野 共同墓地
相續者氏名 及住所	千田偉一君 和歌山縣那賀郡長田村大字南志野三一六



君、資性豪邁不羈ニシテ、志經世濟民ニ篤ク、夙ニ自由民權ノ大義ヲ唱へ、明治十九年那賀郡同志會ヲ組織シ、日刊紀陽新聞ヲ發刊シテ民論ヲ指導シ、屢々衆議院議員ニ當選シテ議政ニ參與シ、田畑地價修正、米穀輸入關稅改正等幾多重要政策ノ貫徹ニ努メ、農民ノ福利ヲ増進シ、紀勢縱貫鐵道ノ建設ニ盡瘁シテ地方開發ニ盡瘁セリ又私立猛山學校ヲ設立シテ郷黨子弟ノ訓育ニ貢獻スル等其功績尠カラズ。

清 崙太郎君 從五位 勳四等

選舉區	静岡縣第四區
出身地	静岡縣富士郡柚野村
生年月日	明治七年三月 日
經歷ノ一斑	東京市長秘書 立憲政友會幹事 立憲政友會協議員 東京市會議員 同 政務調查會理事 同 院內幹事 衆議院議員 請願委員長
衆議院議員當選回数	五回 10 11 12 13 14
逝去年月日	大正十年五月二十九日(行年四十八歲)
墳墓所在地	静岡縣富士郡柚野村上柚野 清家墓地
相續者氏名及住所	清 崙太郎君 東京市品川區北品川御殿山七二七



君、人ト爲リ聰敏ニシテ材幹アリ、初メ東京市會議員ニ  
 舉ゲラルルヤ、能ク市政ノ得失ヲ考察シテ其所信ヲ主  
 張シ、大都市計畫ノ實現ニ努ム、明治四十一年郷黨ヨリ  
 推サレテ衆議院議員ニ當選シ、爾來累選五回、本會ノ要  
 務ニ參畫シテ專心政策ノ實現ニ努メ、又地方産業ノ開  
 發ニ盡瘁シテ私財ヲ吝マズ、郷黨ヲ指導シテ其功績尠  
 カラズ、殊ニ清水港修築ノ事業ハ君ノ最モ心血ヲ濺ギ  
 タル所ニシテ、地方人士ノ永ク銘記スル所タリ。

關

信之介君

勳四等

選舉區	茨城縣郡部
出身地	茨城縣久慈郡久米村
生年月日	嘉永六年二月 日
經歷ノ一班	水戸市會議員 茨城縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員 水戸辯護士組合會長
衆議院議員 當選回数	十回 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
逝去年月日	大正六年一月二十日(行年六十五歲)
墳墓所在地	水戸市下市 定善寺
相續者氏名 及住所	關 司君孫(東京市世田ヶ谷區上馬町三ノ一〇〇六)



君、人ト爲リ豪放ニシテ膽略アリ、夙ニ自由民  
 權ノ說ヲ唱ヘテ後進ヲ指導シ、水戸市會議員、  
 茨城縣會議員ニ舉ゲラル、明治二十五年衆議  
 院議員ニ當選シテ以來累選十回、議政ニ參シ  
 テハ常ニ政費ノ節減、國民負擔ノ輕減、民力ノ  
 休養、言論集會ノ自由ヲ主張シテ民意ノ暢達  
 ニ努メ、憲政ノ發達ニ貢獻スル所尠カラズ又  
 水戸辯護士組合會長ニ選ハレ聲望アリ。

關 根 柳 介 君 從七位勳四等

選舉區	東京府郡部
出身地	東京府南葛飾郡奥戸村
生年月日	嘉永六年十月 日
經歷ノ一班	內務省出仕 鹿兒島縣屬 大藏省屬 福井縣屬 衆議院議員 立憲政友會協議員 臺灣民政局長 嘉義辨務署長
衆議院議員 當選回数	三回 7 8 9
逝去年月日	大正六年十一月二十四日(行年六十五歲)
墳墓所在地	東京市葛飾區高砂町 觀藏寺
相續者氏名 及住所名	關 根 總 洲 君 東京市葛飾區高砂町一、〇五三



君、資性温厚ニシテ素朴ヲ尙ビ、能ク後進ヲ指導シ、自治ノ向上ト産業ノ發達ニ貢獻セリ、明治三十五年衆議院議員ニ舉ゲラレ果選三回、議政ニ參シテハ常ニ本會ノ政策ヲ支持シテ其實現ニ努メ兼テ黨勢ノ擴張ニ盡瘁セリ、又臺灣民政局嘉義辨務署長ニ就任シテ治績尠カラズ。

### 關 矢 儀 八 郎 君

選舉區	新潟縣新潟市
出身地	新潟縣刈羽郡枇杷島村
生年月日	安政五年十月 日
經歷ノ一班	新潟縣會議員 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	三回 7 8 13
逝去年月日	大正十三年十一月二十二日(行年六十七歲)
墳墓所在地	新潟縣刈羽郡柏崎町宇劍野 關矢家墓地
相續者氏名及住所	關矢寅太郎君 新潟縣刈羽郡柏崎町枇杷島



君、人ト爲リ剛健濶達ニシテ機略ニ富ミ夙ニ地方産業ノ開發ニ力ヲ盡シ、曾テ浦鹽斯德ニ商工業ヲ視察シ、後西伯利亞沿海州ニ漁場ヲ租借シテ漁業ヲ經營セリ、明治三十五年衆議員議員ニ當選シ議政ニ參シテヨリ以來選ヲ累ヌルコト三回、本會協議員ニ舉ゲラレ、又新潟縣會議員、露領水産組合評議員、同新潟支部長等ニ就任シテ聲望アリ。

瀬沼伊兵衛君 正七位

選舉區	東京府第十六區
出身地	東京府西多摩郡西秋留村
生年月日	文久三年十月 日
經歷ノ一斑	神奈川縣會議員 東京府會議員 同 副議長 東京府會郡部會議長 衆議院議員 立憲政友會協議員
衆議院議員當選回数	一回 15
逝去年月日	昭和五年十月一日(行年六十八歲)
墳墓所在地	東京府西多摩郡西秋留村字油平 瀬沼家墓地
相續者氏名及住所	瀬沼孝一君 東京府西多摩郡西秋留村字油平二一〇



君、資性溫和圓滿ニシテ而モ膽略アリ、夙ニ自由黨ニ加盟シテ政界ニ活躍シ、三多摩地方ノ重鎮トシテ郷黨ノ推服スル所トナリ、屢々東京府會議員ニ當選シテ副議長、郡部會議長等ニ舉ゲラレ、府政ニ參與シテ勵精倦ムヲ知ラズ、而モ洒脫ニシテ名利ニ汲々タラズ、大正十三年衆望ヲ負ヒ、衆議院議員ニ當選セシモ一回ニシテ之ヲ辭シ、以テ後進ノ途ヲ開キ專心黨務ニ盡瘁セリ、又東京府農工銀行監査役、五日市鐵道株式會社其他ノ重役トナル。

末松謙澄君

正二位勳一等法・文學博士  
子爵

選舉區	福岡縣第八區
出身地	福岡縣京都郡
生年月日	安政二年八月 日
經歷ノ一班	逓信大臣 立憲政友會總務委員 宮内省御用掛 立憲政友會創立委員 同 協議員長 英國駐在官 衆議院議員 內務大臣 樞密顧問官
衆議院議員當選回数	三回 1 2 3
薨去年月日	大正九年十月六日(行年六十六歲)
墳墓所在地	東京市品川區品川町 清光院
相續者氏名及住所	子爵末松春彦君 東京市芝區西久保城山町四



君、聰敏ノ資ヲ以テ功ヲ螢雪ニ積ムコト多年、學東西ヲ該ネ識古今ニ通ズ、而シテ其志經世ニ在リ、才識英發名聲夙ニ舉リ、明治三十一年第三次伊藤内閣ニ遞信大臣タリ、後辭シテ野ニ下リ奮然憲政黨ニ投ジ明治三十三年伊藤侯ノ本會ヲ組織セラルルヤ入リテ創立委員トナリ、本會立黨ノ事君與リテ力アリ、尋デ總務委員ニ舉ゲラレ第四次伊藤内閣成ルニ迫ビテ内務大臣ニ任ゼラレ在職長カラズト雖モ其功績頗ル見ルベキモノアリ、挂冠ノ後専ラカヲ黨務ニ盡シ、明治三十九年樞府ニ入ルニ及ビテ黨籍ヲ離脱セリト雖モ、本會創立以來ノ發展ハ實ニ君ノ力ニ負フ所多シ、舉黨君ヲ以テ創業ノ元勳トナシ推敬セリ。 號青萍

杉田 正一君 正四位勳二等

選舉區	福井縣郡部
出身地	福井縣坂井郡鶉村
生年月日	嘉永四年六月 日
經歷ノ一斑	福井縣會議員 同 議長 立憲政友會臨時協議員 同 總務委員 全院委員長 立憲政友會幹事長 立憲政友會相談役 北海道長官 衆議院議長 貴族院議員 衆議院議員 衆議院副議長
衆議院議員當選回数	九回 1 2 3 5 6 7 8 9 10
逝去年月日	昭和四年三月二十三日(行年七十九歲)
墳墓所在地	福井縣坂井郡鶉村波寄 杉田家墓地
相續者氏名及住所	杉田正一君 兵庫縣武庫郡御影町柳 奥村治郎一郎氏方



君、人ト爲リ剛直廉潔ニシテ夙ニ自由民權ノ大義ヲ唱へ、各地ヲ遊説シテ國民ノ政治的思想ヲ涵養シ、政界ノ長者トシテ推重セラレ、第一回總選舉以來累次衆議院議員ニ當選シテ全院委員長、副議長、議長等ノ要職ニ舉ゲラレ、本會ニ於テハ協議員、總務委員、院内總務、幹事長、相談役等ニ歴任シテ貢獻スル所頗ル多大ナリ。又北海道長官ニ任ゼラレ令名アリ。 號 鶉 山

昭和八年十一月二十日印刷  
昭和八年十一月廿五日發行

不許  
複製

北多摩郡調布町飛田給三十番地  
編輯者 青野權右衛門

東京市芝區田村町四丁目二十番地  
印刷者 福井安久太

發行所

東京市芝區新橋二丁目四十八番地  
安久社

電話銀座(57)六七四番

(安久社印)



